

【ハザードマップについて】 P 1

- Q 1 ハザードマップとは何ですか。
- Q 2 福井市では、他にどのようなハザードマップ等を公開していますか。
- Q 3 ハザードマップを使うとどのような効果がありますか。
- Q 4 福井市洪水・土砂災害ハザードマップとは何ですか。
- Q 5 今回のハザードマップは前回と主にどこが違うのですか。

【ハザードマップの使い方について】 P 4

《マップの表面（情報・学習面）について》 P 4

- Q 6 表面（情報・学習面）の見方がわかりません。
- Q 7 どのタイミングで避難すればよいのでしょうか。
- Q 8 マイ・タイムラインの書き方がわかりません。

《マップの裏面（地区詳細図）について》 P 13

- Q 9 裏面（地区詳細図）の見方がわかりません。
- Q 10 基本想定とは何ですか。
- Q 11 最大想定とは何ですか。
- Q 12 マップに2種類（基本想定と最大想定）の図がありますが、どちらを見て避難すればよいですか。
- Q 13 自宅の詳細な浸水深が知りたいです。どうしたらよいですか。

【想定する雨の降り方や浸水の範囲、浸水深について】 P 22

《浸水深について》 P 22

- Q 14 浸水深とは何ですか。
- Q 15 浸水深の配色が他の自治体と違うのはなぜですか。
- Q 16 なぜ浸水深の目安はこの区切り方なのかですか。
- Q 17 土地の造成等により浸水深は変わりますか。

《浸水する範囲について》 P 24

- Q 18 ハザードマップに示されたような広範囲の浸水は本当に起こるのですか。
- Q 19 浸水深の色が付いていないところは安全なのですか。

《浸水する範囲や浸水深の洪水シミュレーションについて》…………… P 2 6

- Q 2 0 洪水シミュレーションはどの河川を対象にしていますか。
- Q 2 1 排水路や側溝などから水があふれることは考えていますか。
- Q 2 2 最大想定が発生する確率は、いつから1,000年ですか。
- Q 2 3 最大想定のような雨は、実際に降ったことがあるのですか。
- Q 2 4 過去に発生した洪水による浸水範囲と、洪水シミュレーションの結果は一致するのですか。

【災害時に特に注意が必要な区域について】…………… P 2 8

《洪水災害について》…………… P 2 8

- Q 2 5 早期の立退き避難が必要な区域等とは何ですか。
- Q 2 6 浸水継続時間とは何ですか。

《土砂災害について》…………… P 3 1

- Q 2 7 土砂災害にはどのようなものがありますか。
- Q 2 8 土砂災害のおそれがある区域とは何ですか。
- Q 2 9 土砂災害のおそれがある区域内に住んでいます。どう避難すればよいですか。
- Q 3 0 土砂災害発生の前兆現象とはどのようなものですか。
- Q 3 1 土砂災害のおそれがある区域の外は安全ですか。

【避難時の注意点について】…………… P 3 7

《避難情報について》…………… P 3 7

- Q 3 2 警戒レベルとはどういったものですか。
- Q 3 3 避難情報はどのように入手すればよいですか。
- Q 3 4 河川の水位はどうやって調べればよいですか。

《防災行政無線について》…………… P 5 4

- Q 3 5 以前、防災行政無線からの放送が雨で聞こえませんでした。どうすればよいですか。
- Q 3 6 停電時でも、防災行政無線からの放送は聞こえますか。

《立退き避難時に知っておくべきことについて》…………… P 5 5

- Q 3 7 暗い時間帯や降雨時、浸水時にはどのようなことに注意して避難したらよいですか。
- Q 3 8 車で避難しても大丈夫ですか。
- Q 3 9 地下道を使って避難しても大丈夫ですか。
- Q 4 0 橋を渡って避難しても大丈夫ですか。

- Q 4 1 災害用伝言ダイヤルとは何ですか。
- Q 4 2 避難時は何を持って避難したらよいですか。

《避難行動について》…………… P 6 1

- Q 4 3 洪水がすでに発生しているときはどうしたらよいのでしょうか。
- Q 4 4 自宅の最上階が浸水しませんが、避難所へ避難したほうがよいのでしょうか。
- Q 4 5 自宅が土砂災害のおそれがある区域の中にあります。「いつ」、「どこに」避難したらよいのでしょうか。
- Q 4 6 自宅に避難する際には、何を備蓄したらよいですか。
- Q 4 7 浸水しないので自宅の最上階に避難しようと思います。どんな問題が発生しますか。

《避難所について》…………… P 6 4

- Q 4 8 避難所にはどのような種類があるのですか。
- Q 4 9 浸水などで利用できなくなる避難所はありますか。
- Q 5 0 指定避難所は「いつ」、「どこが」開きますか。
- Q 5 1 地区外の避難所へ避難してもよいのでしょうか。
- Q 5 2 どのような避難方法がありますか。
- Q 5 3 土砂災害のおそれがある区域内の指定避難所は安全でしょうか。
- Q 5 4 指定避難所までが遠く、徒歩で避難できません。どうしたらよいですか。
- Q 5 5 地区と協定を結んだ企業の避難場所はどこにありますか。
- Q 5 6 新型コロナウイルスに対してどのような対策を行っていますか。

【その他について】…………… P 7 1

- Q 5 7 国内における豪雨の発生件数はどのように変化していますか。
- Q 5 8 国内では、年間、何件の土砂災害が発生していますか。
- Q 5 9 他自治体や企業との災害時の協力（災害時応援協定）にはどのようなものがありますか。
- Q 6 0 自助・互助・共助・公助とは何ですか。
- Q 6 1 印刷製本された福井市洪水・土砂災害ハザードマップはどこでもらえますか。
- Q 6 2 マップの低画質版と高画質版はどのように使い分ければよいのでしょうか。
- Q 6 3 マップはどこに保管すればよいですか。
- Q 6 4 出前講座や市民説明会を開いてもらうことはできますか。

【用語集】 P 7 5

【別途資料】 P 9 4

お問合わせ先

ハザードマップに関する事.....河川課 (電話) 0 7 7 6-2 0-5 4 9 2

避難に関する事.....危機管理課 (電話) 0 7 7 6-2 0-5 2 3 4

Q1 ハザードマップとは何ですか。

A1 ハザードマップとは、自然災害による被害を予測し、その被害の範囲を地図化したものをいいます。ハザードマップは、別名「防災情報マップ」や「災害避難地図」などともいわれ、災害時の避難や防災学習、さらには土地利用の検討など幅広い活用がなされています。

Q2 福井市では、他にどのようなハザードマップ等を公開していますか。

A2 福井市では、洪水・土砂災害ハザードマップの他に、内水氾濫※、ため池、津波、地震に関するハザードマップに加え、大規模盛土造成地に関するマップを作成し、市民の防災意識の向上を図っています。これらのハザードマップ等は福井市のホームページ上で公表しています。

※内水氾濫…内水氾濫とは、水路や側溝の排水能力を超える強い雨や、大きな川の水位が高くなって雨水を排水できなくなり建物や土地が水に浸かること。

表 ハザードマップ等の種類と入手方法

種類	担当課	掲載場所
洪水・土砂災害	建設部 河川課 0776-20-5492	福井市ホームページにて公開 https://www.city.fukui.lg.jp/kurasi/koutu/kasen/p003438.html
内水氾濫	企業局雨水対策室 0776-20-5651	福井市ホームページにて公開 https://www.city.fukui.lg.jp/kurasi/gesui/gesuiproject/hazardmap.html
ため池	農林水産部 農村整備課 0776-20-5440	福井市ホームページにて公開 https://www.city.fukui.lg.jp/sigoto/nourin/nuoson/tameike-hm.html
地震	危機管理局 危機管理課 0776-20-5234	福井市ホームページにて公開 https://www.city.fukui.lg.jp/kurasi/bosai/bosai/jisinmap.html
津波		福井市ホームページにて公開 https://www.city.fukui.lg.jp/kurasi/bosai/bosai/tsunami_hazardmap.html
大規模盛土造成地	都市戦略部 都市計画課 0776-20-5450	福井市ホームページにて公開 https://www.city.fukui.lg.jp/kurasi/bosai/bosai/daikibomorido.html

Q3 ハザードマップを使うとどのような効果がありますか。

A3 ハザードマップを使うことで得られる様々な効果があります。

例えば、以下の効果などがあります。

- ①災害による被害の程度を前もって知ることができる。
- ②災害に対する危機意識を普段から持つことができる。
- ③災害時に「いつ」、「どこに」避難するかを前もって知ることができる。

また、平成10年8月の福島県で発生した集中豪雨では、ハザードマップを学習したことがある人は、ない人と比べて、避難情報が出てから避難を行うまでの時間に「1時間」の差が出る※など、災害発生時の逃げ遅れを減らす効果が証明されています。

※出典：「平成11年度 東北地方建設局 建設白書（第1章 東北の地域づくりと社会資本整備）」国土交通省 平成11年12月

Q4 福井市洪水・土砂災害ハザードマップとは何ですか。

A4 福井市洪水・土砂災害ハザードマップとは、水防法に基づき、国や県が作成した洪水浸水想定区域図を基に、地域防災計画に定めた洪水予報等の伝達方法、避難場所その他洪水時の円滑かつ迅速な避難の確保を図るために必要な事項等を記載したものをいいます。また、福井市は土砂災害警戒区域等を含んでおり、水防法上、洪水ハザードマップに当該区域等を表記することと定められていることから、土砂災害ハザードマップも兼ねています。そのため、名称を「福井市洪水・土砂災害ハザードマップ」としています。

このハザードマップは、「自らの命は自らが守る」を基本として、災害時に取るべき避難行動をフローに沿って確認することができ、あらかじめ適切な避難計画を立てることができる内容としています。

Q5 今回のハザードマップは前回と主にどこが違うのですか。

A5 今回の改定のポイントは、「自らの命は自らが守る」を基本として、主に3点あります。

①平成27年の水防法改正による拡充

水防法の改正により、洪水浸水想定的前提となる降雨が、過去の大雨の実績などを基に定めた「計画規模降雨」から、概ね1,000年に1度以上の確率で発生する「想定し得る最大規模の降雨」へと拡充されました。

新しいマップには、計画規模降雨を「基本想定」、想定し得る最大規模の降雨を「最大想定」として表記しています。

計画規模、想定し得る最大規模の降雨の意味については、Q10「基本想定とは何ですか。」、Q11「最大想定とは何ですか。」で確認できます。

②洪水浸水想定の対象となる河川の拡充

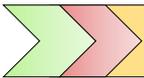
洪水浸水想定区域の指定が義務付けられている九頭竜川や日野川など、流域面積の大きい7つの大河川のほか、本市を流れる35の中小河川についても、洪水浸水想定区域が指定されました。

新しいマップでは、これまで浸水想定区域の指定がなされていなかった地域についても浸水想定がなされています。

③「自らの命を自らが守る」ための情報面の拡充

災害時に取るべき避難行動を簡単に確認できる欄を新たに追加しています（表面「7 マップを見て調べよう！」）。

また、上記欄で災害時にとるべき自らの行動を確認した上で、「いつ」「何をするのか」といった具体的な避難計画を立てるための「マイ・タイムライン」の作成欄を追加しています。マップに記載された情報を読むだけでなく、マイ・タイムラインの作成や必要な物資の備蓄など、日頃から水災害について考え、備えておきましょう。

 《マップの表面（情報・学習面）について》

Q6 表面（情報・学習面）の見方がわかりません。

A6 表面（情報・学習面）には、災害発生前に十分に学習していただき、災害が発生した時に冷静な判断や行動をとっていただくために必要な情報を記載しています。

以下のとおり、順番に確認しましょう。

表 確認する順番と内容

確認する順番	項目	内容
1 (表面)	表紙	対象地区名・解説動画の2次元コード
2 (表面)	1 情報の入手方法	避難時に必要となる情報の入手方法
	2 猛威を振るう近年の洪水・土砂災害	近年の国内や福井市で発生した洪水・土砂災害に関する情報
3 (表面)	3 防災は「いつ」ではなく「日ごろ」から！	福井市が作成している様々なハザードマップ等や備蓄や率先避難の重要性に関する情報
	4 こんな災害にもご注意ください！	土砂災害のおそれがある区域や強い水流により家屋が倒壊するおそれがある区域(家屋倒壊等氾濫想定区域)に関する情報
4 (表面)	5 避難時に命を左右する8つのポイント	避難路の選び方や車での避難などにおいて注意すべき8つのポイント
	6 福井市は水害を受けやすい地形です	福井市の地形に関する情報
5 (表面)	7 福井市全域図（最大想定）	最大想定 of 浸水深を記載した全域図や主な河川による浸水継続時間図など
6 (裏面)	地区詳細図 ※使い方の詳細はQ9を参照	浸水深、土砂災害のおそれがある区域、家屋倒壊等氾濫想定区域、6つの避難行動、災害用伝言ダイヤルなど、避難確保等に必要な情報
7 (表面)	8 マップを見て調べよう！	災害時にとるべき避難行動を簡単に確認できる欄
8 (表面)	9 マイ・タイムラインをつくろう！	「いつ」「何をするか」といった具体的な避難計画を立てるための「マイ・タイムライン」の作成欄

まずは、表面の1から5（下図）の順に内容を確認しましょう。

次に、裏面で自宅近くの詳細図を確認しながら、7（下図）で災害時にとるべき避難行動を検討しましょう。

最後に、8（下図）でマイ・タイムラインを作成してみましょう。

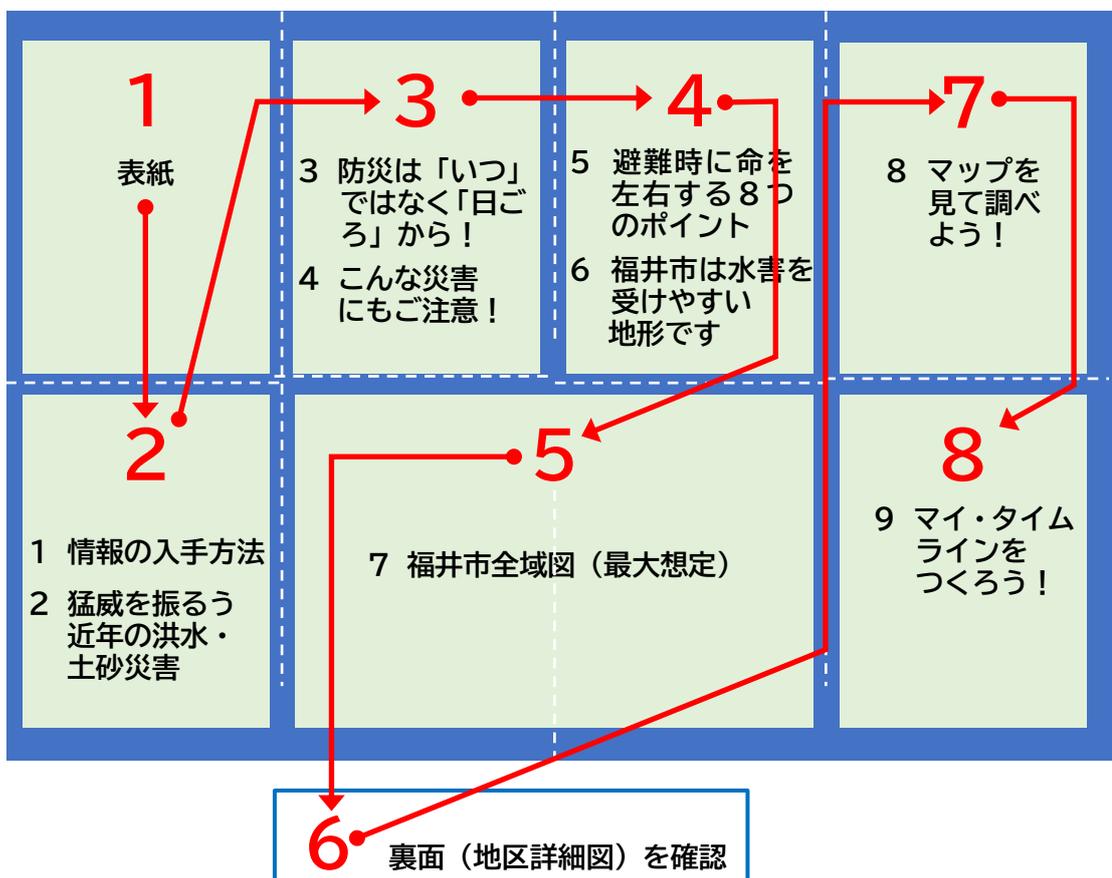


図 確認する順番

Q7 どのタイミングで避難すればよいのでしょうか。

A7 マップ表面の「8 マップを見て調べよう！」で、どのタイミングでどのような避難行動をとればよいかを確認しましょう。避難行動を選ぶ際の注意事項はQ52を確認しましょう。

避難行動の確認手順

まずは、ハザードマップ裏面の基本想定を確認し、①自宅付近の浸水深や自宅が土砂災害のおそれがある区域内にあるかを確認し、「はい」か「いいえ」を選びましょう。

①で「いいえ」を選んだ方

①で「いいえ」を選んだ方は、屋内安全確保が可能です。

8 マップを見て調べよう！
裏面のマップを見て自宅の階数や浸水深などに をしましょう。

(1) 自宅の災害リスクについて

① 裏面の **基本想定** を見て、自宅が浸水深 (下記②) の色や土砂災害 (下記④) の区域内にありますか？

はい いいえ

↓ はい → ↓ いいえ →

屋内安全確保 必要に応じて、避難者の受け入れなどの手助けをしましょう。

①で「はい」を選んだ方 ⇒ ②へ

①で「はい」を選んだ方は、②で自宅の階数と浸水深を確認しましょう。

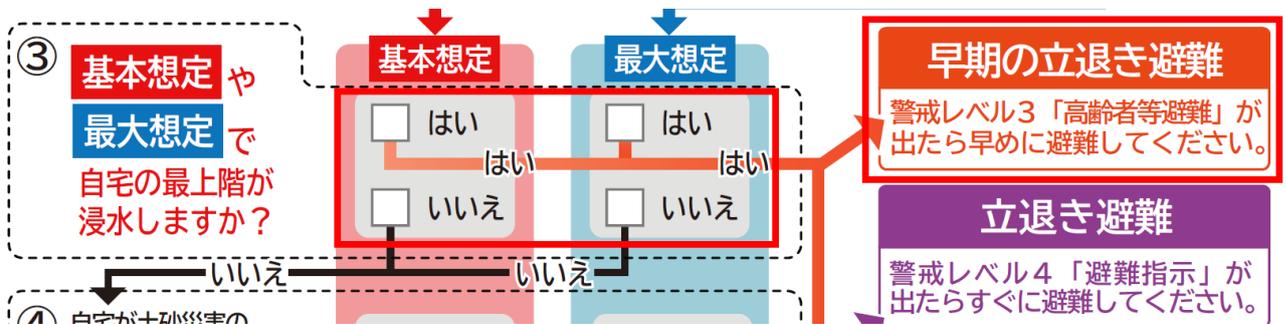
② 自宅の階数と浸水深は？

基本想定	最大想定
概ね 100 年に一度の洪水	概ね 1,000 年に 1 度の洪水
<input type="checkbox"/> 5.0m 以上	<input type="checkbox"/> 5.0m 以上
<input type="checkbox"/> 3.0~5.0m 未満	<input checked="" type="checkbox"/> 3.0~5.0m 未満
<input checked="" type="checkbox"/> 0.5~3.0m 未満	<input type="checkbox"/> 0.5~3.0m 未満
<input type="checkbox"/> 0.5m 未満 または、浸水しない	<input type="checkbox"/> 0.5m 未満 または、浸水しない

※上記の場合は、基本想定では2階への垂直避難が可能ですが、最大想定では、最上階となる2階まで浸水することとなるため、自宅外への立退き避難が必要となります。

②で自宅の階数と浸水深を回答した方 ⇒ ③へ

②で自宅の階数と浸水深を回答した方は、③において、基本想定と最大想定それぞれで自宅の最上階が浸水するかどうかを確認しましょう。基本想定と最大想定いずれかで「はい」を選んだ方は、警戒レベル3「高齢者等避難」が発令された時点で早めに避難をしましょう。

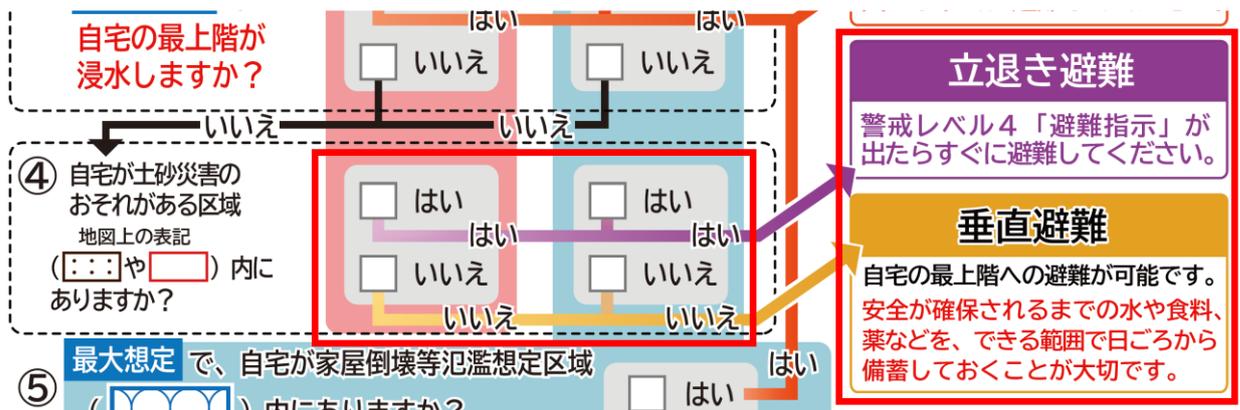


③で自宅の最上階が浸水しないと回答した方 ⇒ ④へ

また、③において、基本想定と最大想定両方で「いいえ」を選んだ方は、④で自宅が土砂災害のおそれがある区域内にあるかどうかを確認しましょう。

土砂災害のおそれがある区域内にお住まいの方（④で「はい」と回答した方）は、警戒レベル4「避難指示」が発令された時点で立退き避難をしましょう。

また、土砂災害のおそれがある区域の外にお住まいの方（④で「いいえ」と回答した方）は、浸水しない上の階への垂直避難が可能です。



土砂災害のおそれがある区域内にお住まいの方(④で「はい」と回答した方)は、下表に示す警戒区域の種類(土砂災害警戒区域(イエローゾーン)、土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン))や、「がけ崩れ」や「土石流」、「地すべり」などの土砂災害の種類(下図)もあわせて確認しておきましょう。

表 警戒区域の種類

種類	凡例	解説
土砂災害警戒区域 (通称:イエローゾーン)		がけ崩れ等が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域
土砂災害特別警戒区域 (通称:レッドゾーン)		がけ崩れ等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命または身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域

土砂災害のおそれがある区域 地図上の  や  では土砂災害のおそれがあります。

区域に関する詳細は「土砂災害警戒区域等管理システム」を確認してください。

がけ崩れ
雨や地震などにより、急激に斜面が崩れ落ちる現象。



ザワザワ

土石流
石や土砂が集中豪雨などによって一気に押し流される現象。



ドーン
ツーン
ゴー

地すべり
斜面の一部あるいは全部が斜面の下に移動する現象。



ザワザワ
バリバリ
メキメキ

こんな時は「がけ崩れ」に要注意!

- ・がけにひび割れができる
- ・がけから水が湧き出る
- ・小石がパラパラと落ちてくる

こんな時は「土石流」に要注意!

- ・急に川の水が濁り、流木が混ざり始める
- ・山鳴りがする
- ・降雨が続くのに川の水位が下がる

こんな時は「地すべり」に要注意!

- ・井戸や沢の水が濁る
- ・地面がひび割れ・陥没
- ・がけや斜面から水が噴き出す

注意

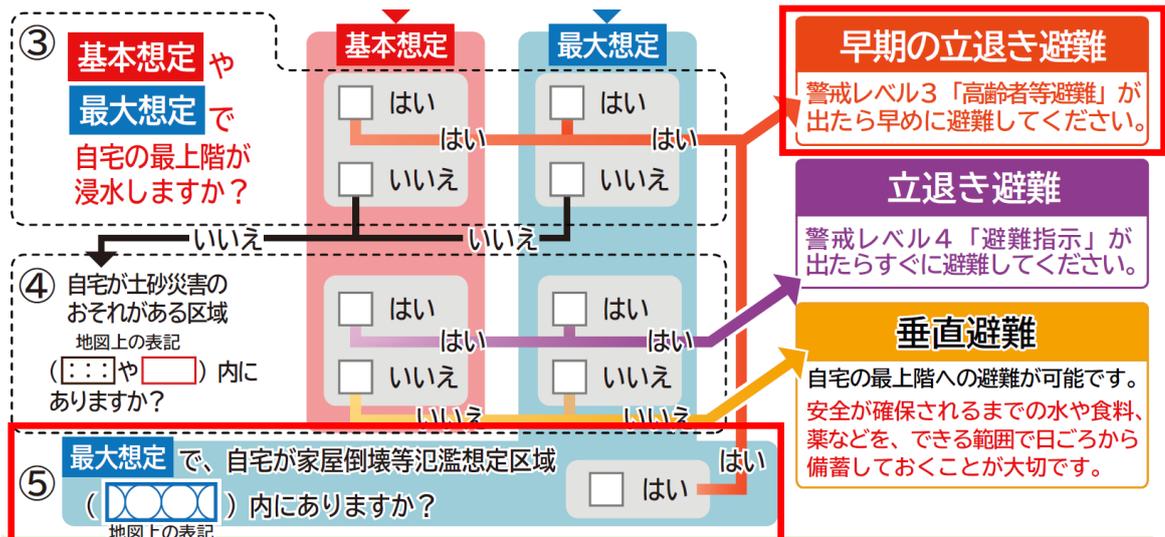
警戒区域外でも土砂災害が発生するおそれがあります。できるだけ斜面から離れてください。雨が弱まった後も土砂災害に注意ください。

図 土砂災害の種類

家屋倒壊等氾濫想定区域内にお住まいかどうかの確認 ⇒ ⑤へ

最大想定において、強い水流により家屋が倒壊・流失するおそれがある区域（家屋倒壊等氾濫想定区域）内にお住まいかどうかを確認し、「はい」か「いいえ」を選んでください。

家屋倒壊等氾濫想定区域内に自宅がある方（⑤で「はい」と回答した方）は、警戒レベル3「高齢者等避難」が発令された時点で早めに避難をしましょう。



家族の状況について

高齢者や障がい者など、避難の際に配慮や支援が必要な人は、比較的避難に時間がかかるため、逃げ遅れないよう早めに避難を開始しましょう。

(2)では、家族内に避難に支援が必要な人がいるかどうかについて確認しています。家族の中に避難に支援が必要な人がいる方（(2)で「あり」と回答した方）は、警戒レベル3「高齢者等避難」が発令された時点で早期の立退き避難をしてください。

(2) 家族の状況について		警戒レベル3で避難 避難に支援が必要な人とその支援者は、警戒レベル3「高齢者等避難」で避難を開始してください。
避難に支援が必要な人の有無（高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦） <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり		
(3) 避難先について 「 <input checked="" type="checkbox"/> あり」と回答した方は…		

避難先について

上記のとおり、早期立退き避難、立退き避難、垂直避難や屋内安全確保など、自らの避難行動を決定したら、(3)に具体的な避難場所や移動手段、移動に係る時間を記入しましょう。

徒歩による避難が困難な場合は、車での避難も検討しましょう。浸水が始まると車での避難が困難となることから、浸水前の早めの避難が重要となります。

(3) 避難先について

で避難を開始してください。

裏面の **6つの避難行動** を参考にして、避難先を考えましょう。

災害時、自宅の地区内で 最初に開く指定避難所	()	<input type="text"/>	(移動手段: <input type="text"/> 移動時間: 約 <input type="text"/> 分)
親戚・知人の家		<input type="text"/>	(移動手段: <input type="text"/> 移動時間: 約 <input type="text"/> 分)
その他 (近くの安全な場所)		<input type="text"/>	(移動手段: <input type="text"/> 移動時間: 約 <input type="text"/> 分)

Q8 マイ・タイムラインの書き方がわかりません。

A8 マイ・タイムラインとは、災害時に「いつ」・「何をするのか」といった具体的な避難計画を立てることができるものです。情報の収集や非常用持ち出し品の準備など、災害時にとるべき行動を記入しておきましょう。

警戒レベル1・2について

警戒レベル1、2では、テレビやインターネットなどから気象や交通に関する情報を集めたり、ハザードマップで避難場所や避難経路を再確認したりするなど、避難に向けた準備を始める段階です。

薬の準備や非常用持ち出し品の準備・確認など、時間のかかることを記入しておきましょう。

災害発生までの目安時間	警戒レベル (目安)	避難情報 (目安)	大雨	河川氾濫	土砂災害	すべきこと	
						記入例	あなたのすべきこと
2日前 ↓ 5時間前	1	—	早期注意情報	氾濫注意情報		・天気予報に注意を払う ・家族の今後の予定を確認 ・薬の準備 (1週間分) 時間のかかる事から始める	書いてみましょう
	2	自主的な避難などの注意の呼びかけ	大雨注意情報・洪水注意情報	氾濫		・非常用持ち出し品の再確認 ・家の周りの飛ばされそうな物の有無の確認 ・テレビ、インターネット、防災情報メール等での雨や川の様子を確認 ・ハザードマップで避難場所や避難経路を再確認	

マップ内に記載した以外の記入例

- ・車での避難に備えた給油
- ・インターネットでの通行止めなどの交通情報の確認
- ・窓の施錠
- ・近隣住民への避難の呼びかけ
- ・インターネットでの川の水位の確認

警戒レベル3について

警戒レベル3は、高齢者や障がい者などの避難に支援が必要な方とその支援者、早期立退き避難が必要な区域等にお住まいの方などが避難を開始する段階です。

マップ内に記載した以外の記入例

- ・ テレビなどによる指定避難所の開設状況の確認
- ・ ブレーカーを切る
- ・ ガスの元栓を閉める

(レベル3で避難しない方)

- ・ レベル4の段階で速やかに避難できるよう、避難の準備を行う

警戒レベル4について

警戒レベル4は、危険な場所から全員が避難する段階です。

マップ内に記載した以外の記入例

- ・ 外が危険な場合は最上階への垂直避難を行う
- ・ 避難路上の地下道に注意する

《マップの裏面（地区詳細図）について》

Q9 裏面（地区詳細図）の見方がわかりません。

A9 地区詳細図は全部で17種類あります。

地区番号	地区名	地区番号	地区名
①	鶉、棗、本郷	⑩	清明、麻生津
②	安居、清水西、清水東、清水南、清水北	⑪	東安居、社南、社北、社西
③	殿下、越廼	⑫	春山、松本、日新、明新
④	一光、国見、鷹巣	⑬	木田、日之出、旭、和田
⑤	西藤島、河合、大安寺、宮ノ下	⑭	豊、足羽、湊、宝永、順化
⑥	啓蒙、中藤島、森田	⑮	下宇坂、芦見
⑦	円山、岡保、東藤島	⑯	羽生、上宇坂
⑧	酒生、一乗、東郷	⑰	上味見、下味見
⑨	上文殊、文殊、六条		

このうち、地区番号①～⑭は縦長の図面、地区番号⑮～⑰は横長の構成となっています。また、図面は「基本想定」と「最大想定」で縮尺が異なります。

基本想定と最大想定のそれぞれについて、浸水深や土砂災害のおそれのある区域などを確認できます。

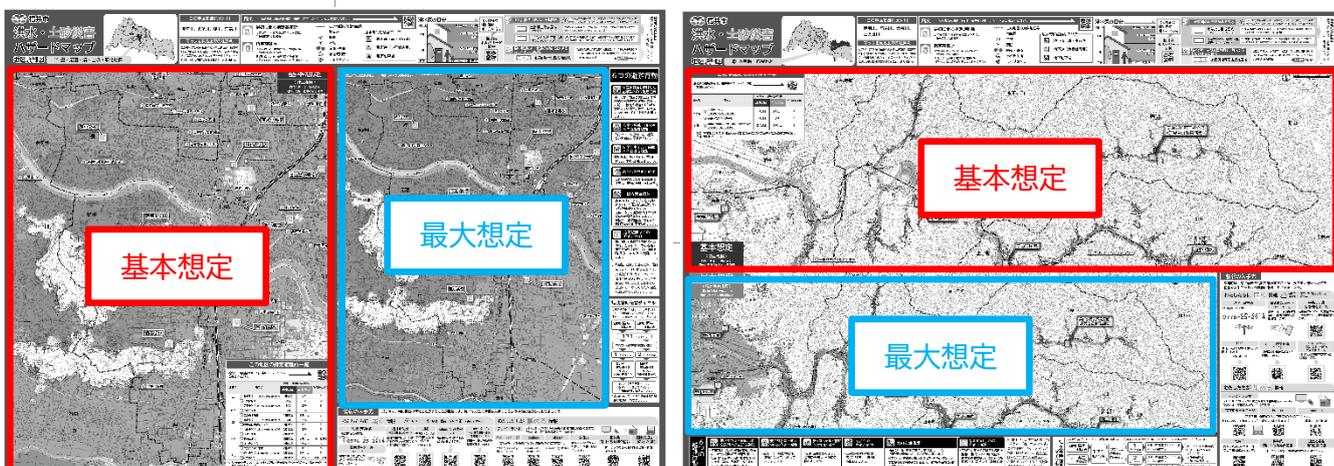


図 縦長の図面の例（白黒表示）

図 横長の図面の例（白黒表示）

Q10 基本想定とは何ですか。

A10 福井市洪水・土砂災害ハザードマップに記載している「基本想定」とは、「計画規模降雨」のことです。

この「計画規模降雨」とは、過去の大雨の実績などを基に定めた降雨のことで、河川整備の基本となるものです。概ね100年に一度以上の確率で発生するとされています。河川ごとの想定総雨量は、P93で確認しましょう。

Q11 最大想定とは何ですか。

A11 福井市洪水・土砂災害ハザードマップに記載している「最大想定」とは、「想定し得る最大規模の降雨」のことです。

この「想定し得る最大規模の降雨」とは、概ね1,000年に1度以上の確率で発生するとされている降雨です。

福井市を流れる河川における想定最大規模降雨は、降雨特性によって分けられた地域のうち、北陸地方における最大降雨量の実績である「平成23年7月の新潟・福島豪雨」で観測された降雨量をモデルに設定されています。河川ごとの想定総雨量は、P94で確認できます。

Q12 マップに2種類（基本想定と最大想定）の図がありますが、どちらを見て避難すればよいですか。

A12 まず、「基本想定」の浸水深や、最初に関指定避難所を確認するとともに、ハザードマップ裏面の「6つの避難行動」を確認し、避難行動を考えましょう。

基本想定 of 降雨量を超え、さらに激しい雨が長時間降り続けると、最悪の場合、「最大想定」による浸水が発生する可能性もあります。基本想定だけでなく、最大想定についてもあらかじめ避難行動を考えておきましょう。

Q13 自宅の詳細な浸水深が知りたいです。どうしたらよいですか。

A13 詳細な浸水深は、福井県水害ハザード情報で確認しましょう。また、その他にも、国土交通省の「浸水ナビ（地点別浸水シミュレーション検索システム）」や、「重ねるハザードマップ」もご活用いただけます。

<p>福井県水害ハザード情報</p> <p>右の2次元コードから確認できます。</p>	<p>2次元 コード</p> 
<p>浸水ナビ 地点別浸水シミュレーション検索システム</p> <p>右の2次元コードから確認できます。</p>	<p>2次元 コード</p> 
<p>重ねるハザードマップ</p> <p>右の2次元コードから確認できます。</p>	<p>2次元 コード</p> 

福井県水害ハザード情報の使い方

① 2次元コード又は「福井県水害ハザード情報」で検索してページを開きます。

② <注意事項>が表示されたら、「次へ」を選択します。

水害ハザード情報（以下「本サイト」という。）を利用する方（以下「利用者」という。）は、以下の注意事項を確認してください。

<注意事項>

- ・本サイトの利用方法、提供している情報の意味を十分に確認、理解し、同意した上で利用してください。
- ・本サイトを利用することで生じた利用者ごとの誤りまたは漏れに関する責任は、福井県は一切を負いません。
- ・本サイトで表示している「浸水実績データ」は、「水害統計書」の水害区域図などを基礎資料として補綴していますが、実際の浸水実績と異なることがあります。
- ・本サイトで表示している「洪水浸水想定区域データ」は、設定した条件で行ったシミュレーションの結果であり、実際の浸水被害の範囲や程度を示すものではありません。このため、本サイトで示す洪水浸水想定区域以外の場所でも浸水被害が発生する可能性があります。[\(設定条件はこちら\)](#)
- ・表示している浸水被害データ、洪水浸水想定区域データは、精度を高めるにつれて拡大すると、表示位置と実際の被害との差異が発生します。また、被害範囲は作成時点からの時間差があるため、現状と一致しない箇所があります。
- ・使用するブラウザは、推奨ブラウザおよびバージョン以外では一部の機能が制限される場合があります。
- ・福井県は本サイトの内容を予告なく変更、削除したり、メンテナンスや障害等のため本サイトの提供を停止したり、あるいは本サイトを休止または廃止する場合があります。
- ・本サイトにおける著作権の著作権は、特に表示のない限り福井県に帰属します。

（平成26年3月24日 制定） 福井県土木部河川課・砂防防災課

- ・本サイトで表示している「避難所」「緊急避難場所」「福祉避難所」「地下空間」「水防倉庫」「水位観測所」「雨量観測所」は平成26年3月現在のものです。

次へ →

③ 確認したい想定を選択します。

・最大想定 of 浸水深を確認するときは、洪水浸水想定区域図（想定最大規模）を選択してください。

・基本想定 of 浸水深を確認するときは、洪水浸水想定区域図（計画規模）を選択してください。

表示する地図を選択してください

→ 洪水浸水想定区域（想定最大規模）

想定最大規模の降雨（概ね1,000年に1度以上の確率で発生する降雨）により浸水が想定される区域および浸水深が閲覧できます。

→ 洪水浸水想定区域（計画規模）

計画規模の降雨（河川毎に個別に定められた、概ね10年～150年に1度程度の確率で発生する降雨）により浸水が想定される区域および浸水深が閲覧できます。

→ 浸水実績

過去の降雨により浸水被害のあった範囲を「年代別」または「主な災害別」で閲覧できます。

④ 福井市を選択します

住所から指定

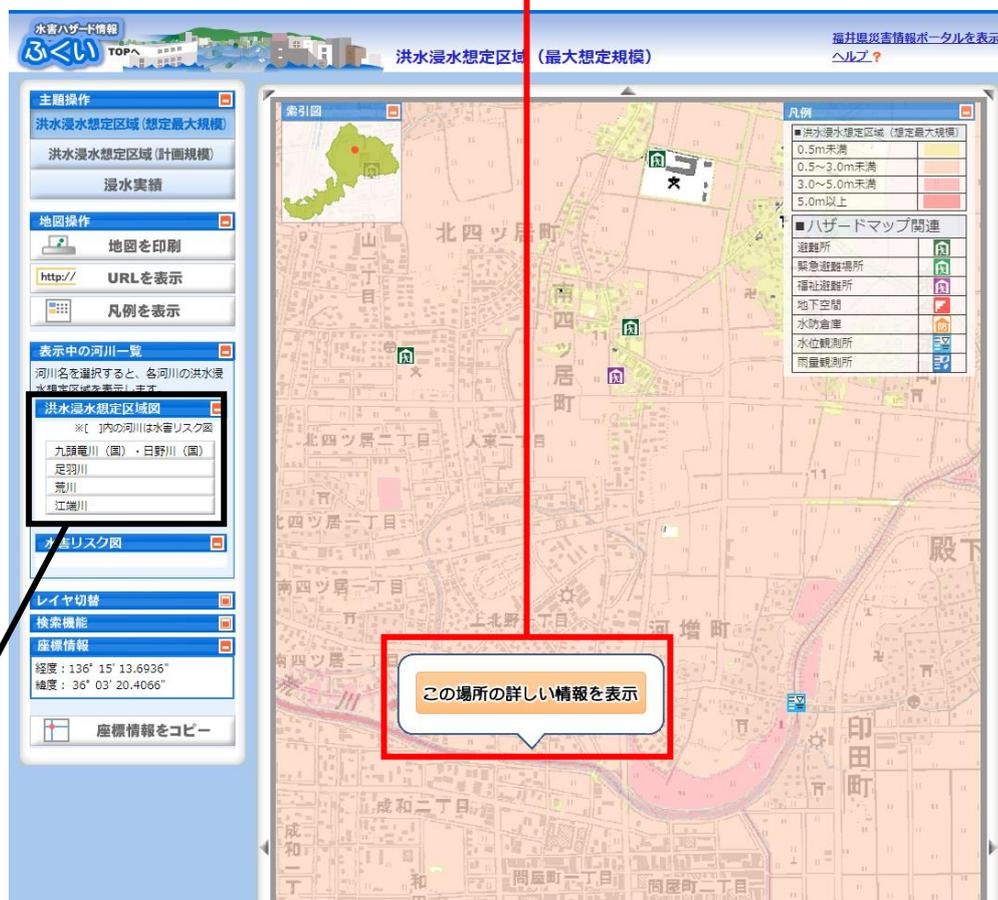
住所名から住所を選択してください。

福井市 ▼

町・大字を選択してください。

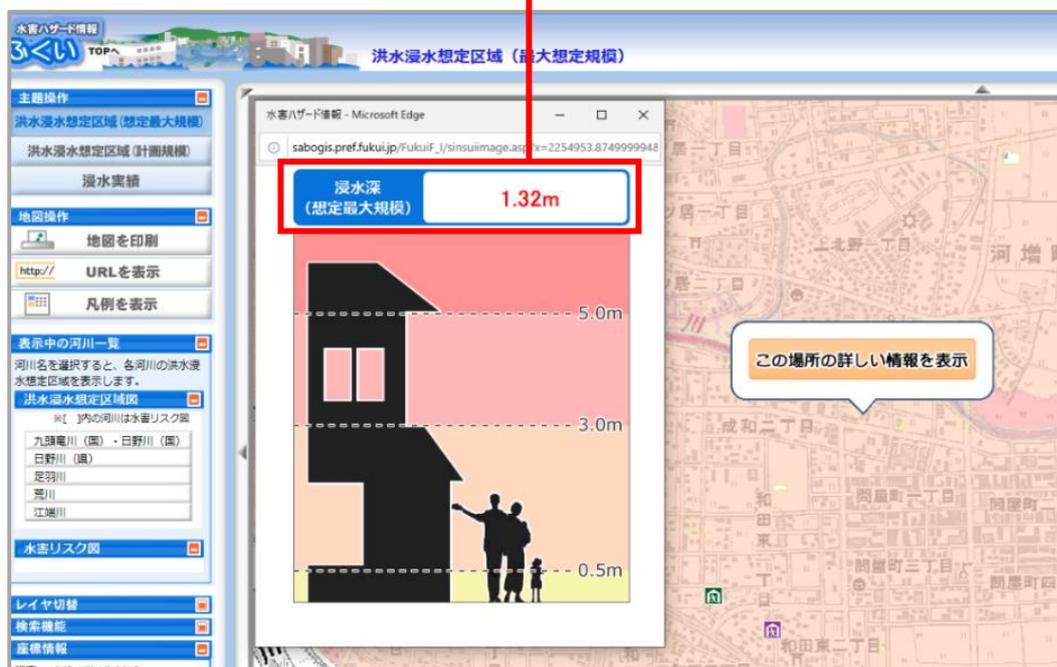
索引図から指定

⑤表示されたマップの中で浸水深が知りたい場所を選択し、「この場所の詳細情報を表示」を選択します。



洪水浸水想定区域が反映されている河川の名称が表示されます。

⑥「この場所の詳細情報を表示」を選択すると、その場所の詳細な浸水深が表示されます。



浸水ナビ（地点別浸水シミュレーション検索システム）の使い方

① 2次元コード又は「浸水ナビ」で検索してページを開きます。

② 「地点別浸水シミュレーション検索システムを見る」を選択します。



③ 調べたい河川名を入力または選択します。
※調べられるのは、一部の河川のみです。

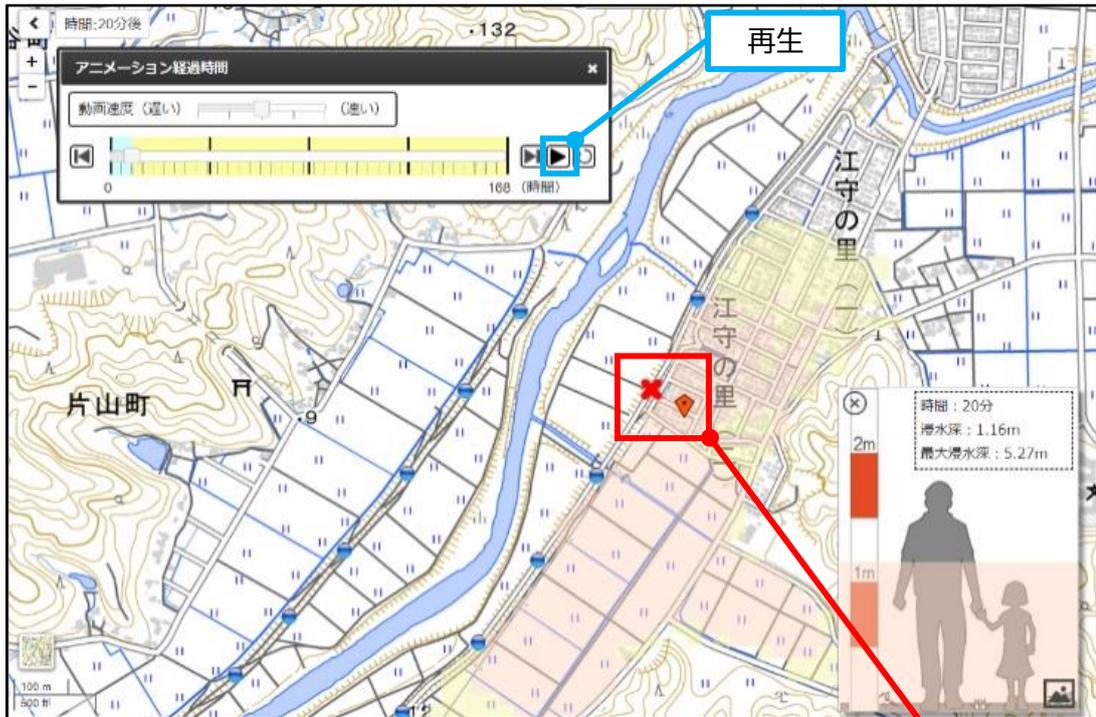


④ 破堤点を選択します。

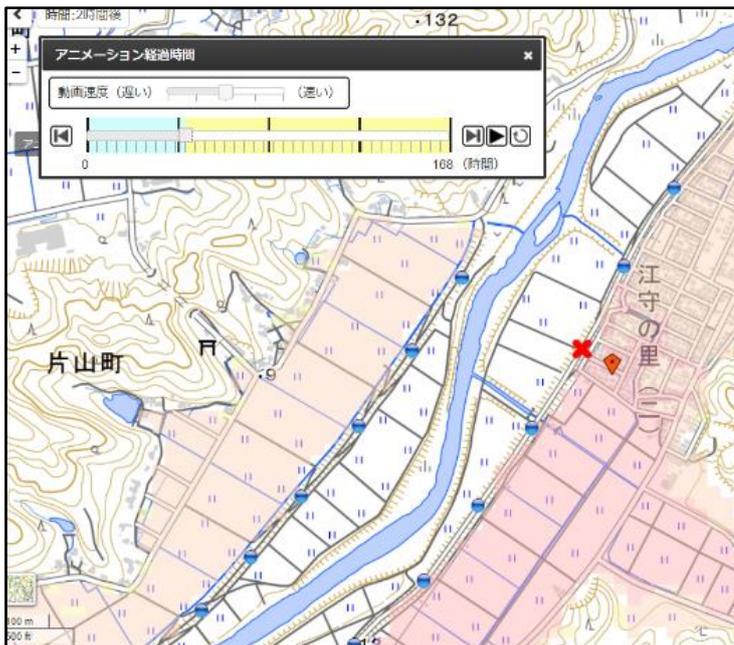
 = 破堤点（想定される堤防決壊箇所）



⑤ 再生を選択すると、浸水する深さと範囲が自動で再生されます。



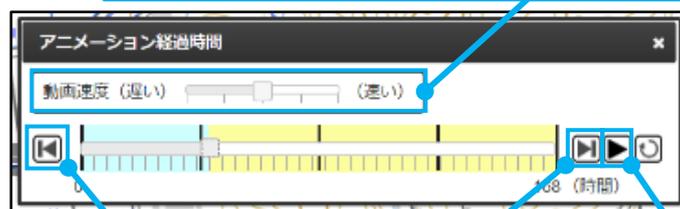
色が変わっていきます



選択した破堤点
(堤防決壊箇所)

操作方法

アニメーションの速度の変更 左:遅くなる 右:速くなる



巻き戻し

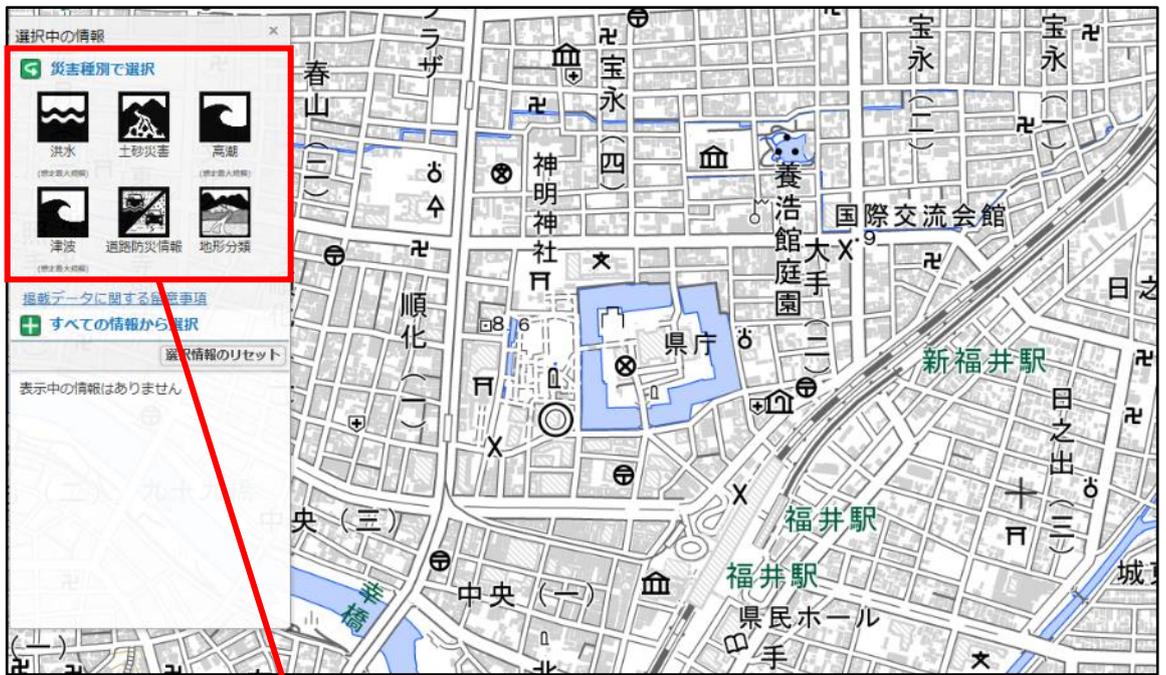
早送り

再生する

重ねるハザードマップの使い方

① 2次元コード又は「重ねるハザードマップ」で検索して、ページを開きます。

② 「災害種別で選択」から、知りたい災害種別を選択します。





洪水の場合

③ 場所を選択することで、その場所の詳細な浸水深が表示されます。



土砂災害の場合

③ 区域を選択することで、土砂災害の種類や危険性に関する解説が表示されます。



《浸水深について》

Q14 浸水深とは何ですか。

A14 洪水や内水氾濫によって、市街地や家屋、田畑が水で覆われることを浸水といい、その深さを「浸水深（しんすいしん）」といいます。また、洪水により、道路や農地が水で覆われることを「冠水（かんすい）」ということもあります。

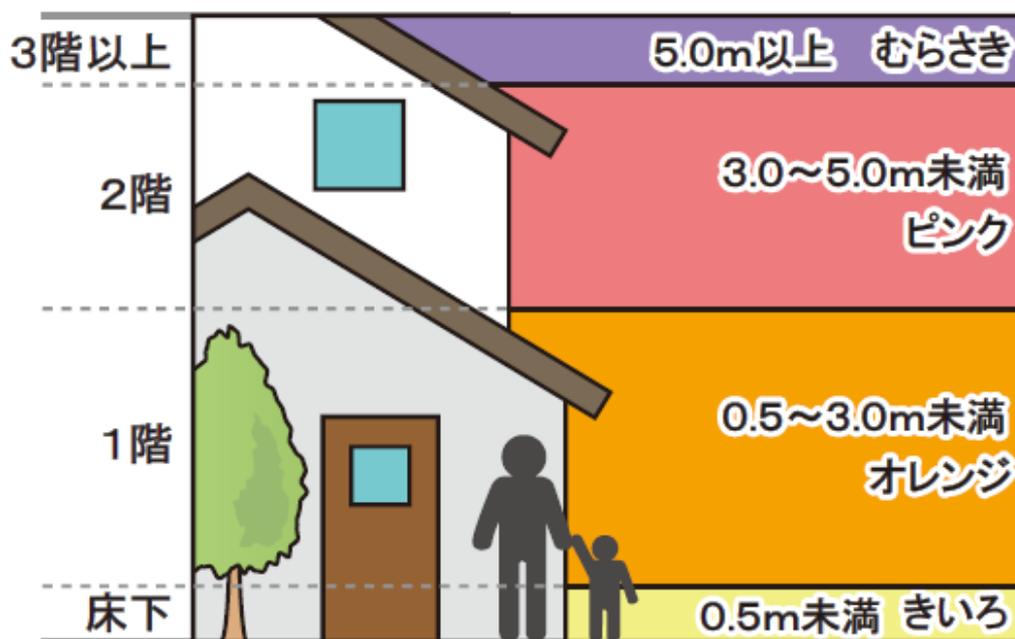


図 浸水深の目安

Q15 浸水深の配色が他の自治体と違うのはなぜですか。

A15 福井市洪水・土砂災害ハザードマップでは、多様な色覚を持つ様々な方に配慮した「カラーユニバーサルデザイン」の配色を使用しています。そのため、より多くの人が見やすく、分かりやすい配色となっています。

Q16 なぜ浸水深の目安はこの区切り方なのか。

A16 浸水深の目安は、イメージが付きやすいよう、一般的な住宅の高さに置き換え、4つの色でわかりやすく表現しています。

家屋の1階床下の高さにあたる0.5m未満を「きいろ」、1階が浸水する

0.5～3.0m未満を「オレンジ」、2階が浸水する3.0～5.0m未満を「ピンク」、3階以上が浸水する5.0m以上を「むらさき」としています。

Q17 土地の造成等により浸水深は変わりますか。

A17 土地の造成により浸水深は変化します。

浸水深は、国や県が洪水浸水想定区域図の作成当時（平成28年～令和2年）に入手可能な最新の地形図をもとに行った洪水シミュレーションの結果から導き出されたものです。このため、地形図が作られた年以降の地盤高は反映されていません。

《浸水する範囲について》

Q18 ハザードマップに示されたような広範囲の浸水は本当に起こるのですか。

A18 ハザードマップに示した洪水浸水想定区域図は、主に以下の手順で作成されています。

- ①設定した降雨において、堤防が決壊する場所を複数想定
- ②その箇所ごとに、洪水シミュレーションを行い、浸水する範囲や深さを予測
- ③河川ごとの浸水する範囲や深さを重ね合わせ、最も深くなる浸水深から浸水想定区域図を作成

このように、浸水想定区域図は、複数の堤防を同時に決壊させた場合を想定したシミュレーションとなっています。実際には、堤防が同時に決壊することは考えにくく、市内全域が一度に浸水することはありません。

しかしながら、本市の市街地は、九頭竜川、日野川、足羽川などの大河川に囲まれ、河川水位よりも低く浸水しやすい土地に位置しています。

お住まいの家の近くの堤防が決壊した場合に、どれぐらいの影響があるかどうかの目安としてご判断いただくようお願いします。

河川ごとの浸水想定区域図は、下記をご覧ください。

福井県「洪水浸水想定区域図」「水害リスク図」福井土木事務所管内

<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kasen/seibi/sinsuisouteifukui.html>

国土交通省 福井河川国道事務所「洪水浸水想定区域図」

<https://www.kkr.mlit.go.jp/fukui/bousai/disaster/disa01.html>

Q19 浸水深の色が付いていないところは安全なのですか。

A19 浸水深の色が付いていないところでも浸水が発生する場合がありますが、色がついている場所に比べ安全と考えられます。

なお、洪水浸水想定区域図において想定されていない以下の現象が発生するおそれがあることも考慮し、豪雨などの災害時には、河川の近くや合流部、低い土地からできるだけ離れて、安全を確保することも大切です。

土砂・洪水氾濫

土砂災害により河道閉塞が発生し水が溜まることで広域に土砂と泥水があふれ出す現象のこと。



図 土砂・洪水氾濫のイメージ
出典：国土交通省HP「(土砂・洪水氾濫)」

バックウォーター現象

支川が増水した本川の流れにせき止められることで、支川の水位が急激に上がる現象のこと。

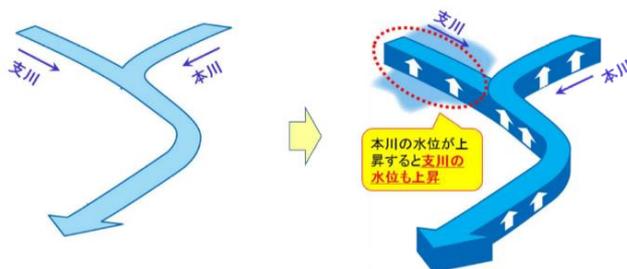


図 バックウォーター現象のイメージ
出典：国土交通省「大規模広域豪雨を踏まえた水災害対策のあり方について」2018年

内水氾濫

水路や側溝の排水能力を超える強い雨や、大きな川の水位が高くなって雨水を排水できなくなり水に浸かること。

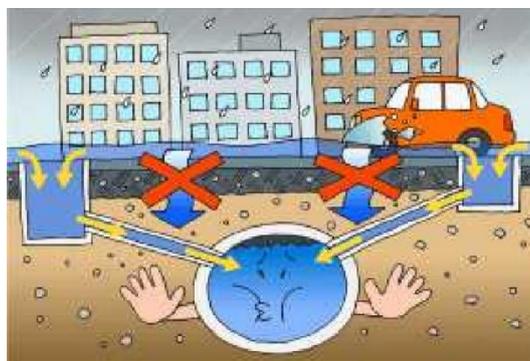


図 内水氾濫のイメージ
出典：国土交通省HP「(下水道による浸水対策)」

《浸水する範囲や浸水深の洪水シミュレーションについて》

Q20 洪水シミュレーションはどの河川を対象にしていますか。

A20 洪水シミュレーションは、九頭竜川、日野川、足羽川の大河川と、これらに流れ込む、狐川や江端川などの支川を合わせた、合計42の河川を対象に行っています。

表 福井市洪水・土砂災害ハザードマップにおいて洪水シミュレーションを行った河川

No	河川名	No	河川名	No	河川名	No	河川名
1	九頭竜川	12	上味見川	23	高橋川	34	山内川
2	日野川	13	底喰川	24	狐川	35	志津川
3	足羽川	14	古川	25	鹿俣川	36	平尾川
4	荒川	15	八ヶ川	26	東俣川	37	滝波川
5	江端川	16	北川	27	縫原川	38	磯部川
6	天王川	17	芦見川	28	朝六川	39	一光川
7	浅水川	18	芳野川	29	馬渡川	40	三本木川
8	鞍谷川	19	大谷川	30	赤川	41	高須川
9	一乗谷川	20	三万谷川	31	大森川	42	大味川
10	羽生川	21	野津又川	32	片川		
11	未更毛川	22	計石川	33	七瀬川		

※赤字は福井市洪水・土砂災害ハザードマップにおいて、今回新たに加えた河川。

Q21 排水路や側溝などから水があふれることは考えていますか。

A21 福井市洪水・土砂災害ハザードマップでは、外水氾濫^{*1}を対象としています。内水氾濫（排水路や側溝などがあふれることで発生する浸水）により想定される浸水深や浸水範囲は示されていません。

内水氾濫については、福井市企業局雨水対策室のホームページ（下記の2次元コード）にて確認できます。

内水氾濫に関するハザードマップ

右の2次元コードから確認できます。

2次元
コード



※ 外水氾濫

外水氾濫とは、台風などによって川の水が堤防からあふれたり、堤防が決壊したりすることによって発生する洪水のこと。

Q22 最大想定が発生する確率は、いつから1,000年ですか。

A22 最大想定 of 降雨が発生する確率は1,000年ごとに1回発生する周期的な降雨ではなく、1年の間に発生する確率が0.1%以下の降雨です。

Q23 最大想定のような雨は、実際に降ったことがあるのですか。

A23 福井市内では、実際に最大想定 of 雨が降ったことはありませんが、近年、基本想定を上回るような大雨が全国各地で降っています。

災害はいつどこで発生するかわかりません。福井市においても、最大想定 of 雨が降る可能性はありますので、ハザードマップを確認しておきましょう。

Q24 過去に発生した洪水による浸水範囲と、洪水シミュレーションの結果は一致するのですか。

A24 平成30年7月豪雨により甚大な被害が発生した岡山県倉敷市真備町では、発生した洪水による浸水範囲と洪水シミュレーションの結果がほぼ一致したという報告があります。

《洪水災害について》

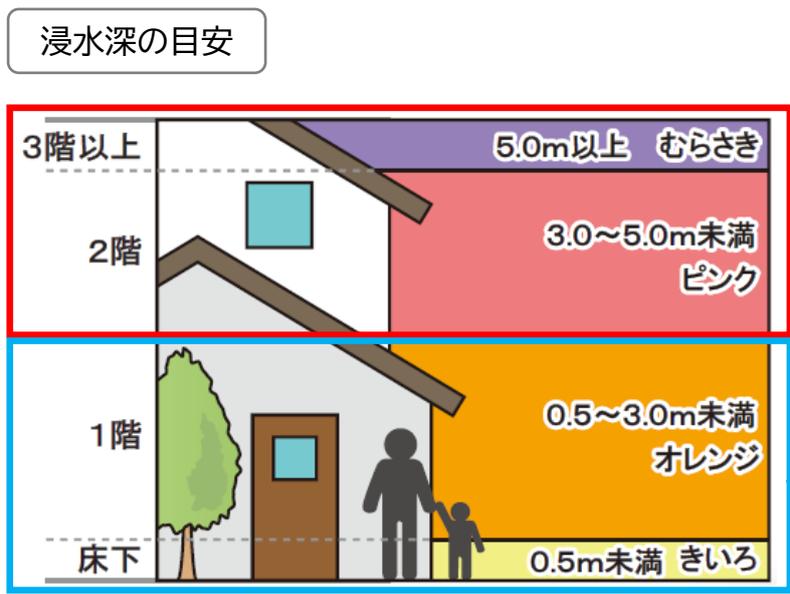
Q25 早期の立退き避難が必要な区域等とは何ですか。

A25 福井市では、早期の立退き避難が必要な区域等を下記の条件で設定しています。

この区域内の方は、警戒レベル3「高齢者等避難」が発令された場合、早めに避難するようにしましょう。

① 最上階が浸水し、上の階への垂直避難ができない家屋

自宅の最上階が浸水する深さは、家屋の階数によって異なります。



例えば…
自宅が2階建ての方で、
 ・ 5.0m以上 (むらさき)
 ・ 3.0~5.0m未満 (ピンク)
 が塗られている方は、最上階(2階)に垂直避難することができませんので、早期の立退き避難が必要となります。

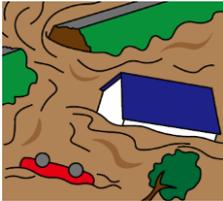
例えば…
自宅が1階建ての方で、
 ・ 0.5~3.0m以上 (オレンジ)
 が塗られている方は、最上階(1階)に留まることができませんので、早期の立退き避難が必要となります。

図 浸水深の目安

② 家屋倒壊等氾濫想定区域

家屋倒壊等氾濫想定区域とは、最大想定（想定最大規模）の降雨に伴う洪水において想定されるものです。

表 家屋倒壊等氾濫想定区域の概要

地図上の表記	種類		解説
	氾濫流		<p>堤防の決壊により氾濫した激しい水の流れ（氾濫流）により、現行の建築基準に適合した一般的な木造家屋が倒壊したり流されたりするおそれがある区域のことです。</p> <p>氾濫流による家屋倒壊等氾濫想定区域に頑強な高層のビルがある場合には倒壊等のおそれは低いため、ただちに立ち退き避難が必要とならない場合もあります。</p>
	河岸浸食		<p>激しい水の流れにより河岸が削り取られる（河岸浸食）ことで、木造以外の家屋も含め倒壊したり流されたりするおそれがある区域のことです。</p>

出典：国土交通省「水害ハザードマップ作成の手引き」（H28）

Q26 浸水継続時間とは何ですか。

A26 浸水継続時間とは、浸水が始まってから、水が引くまで（浸水深が50cmを下回るまで）の時間のことです。

浸水継続時間は、最大想定（想定最大規模）の降雨に伴う洪水により、河川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測しています。

浸水継続時間図は、情報・学習面（表面）に記載しているほか、より詳細な図面を河川課ホームページ内に掲載していますのでご確認ください。

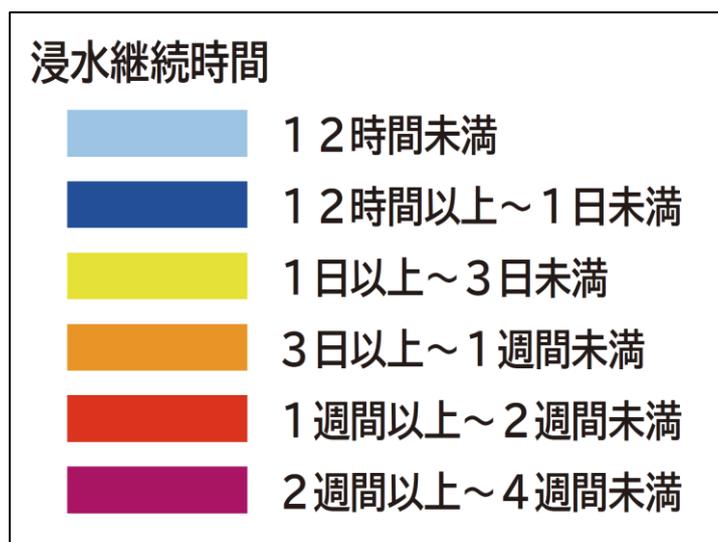


図 浸水継続時間の凡例

《土砂災害について》

Q27 土砂災害にはどのようなものがありますか。

A27 土砂災害には、主に以下の3種類のものがあります。

- ①がけ崩れ（雨や地震などにより、急激に斜面が崩れ落ちる現象）
- ②土石流（石や土砂が集中豪雨などにより一気に押し流される現象）
- ③地すべり（斜面の一部あるいは全部が斜面の下に移動する現象）

表 土砂災害の種類と特徴や前兆現象

種類	特徴、前兆現象
<p>がけ崩れ</p> 	<p>雨や地震などにより、急激に斜面が崩れ落ちる現象 特徴：地すべりと異なり、前ぶれが少なく、突然起きることもある</p> <hr/> <p>前兆現象：がけにひび割れができる がけから水が湧き出る 小石がパラパラと落ちてくる</p>
<p>土石流</p> 	<p>石や土砂が集中豪雨などによって一気に押し流される現象 特徴：流れる速さは速度20～40km（自転車並みのスピード）</p> <hr/> <p>前兆現象：急に川の水が濁り、流木が混ざり始める 山鳴りがする 降雨が続くのに川の水位が下がる</p>
<p>地すべり</p> 	<p>斜面の一部あるいは、全部が斜面の下に移動する現象 特徴：地面が一気に何十メートルも動く</p> <hr/> <p>前兆現象：井戸や沢の水が濁る 地面がひび割れ・陥没する がけや斜面から水が噴き出す</p>

土砂災害のおそれがある区域は「土砂災害警戒区域等管理システム」で確認できます。

<h2 style="margin: 0;">土砂災害警戒区域等管理システム</h2> <p style="margin: 10px 0;">右の2次元コードから確認できます。</p>	2次元 コード
	

土砂災害警戒区域等管理システムの使い方

① 「同意してシステムを利用する」を選択します。

土砂災害警戒区域等管理システム（以下「本サイト」という。）を使用する方（以下「利用者」という。）は、以下の注意事項を確認の上、使用してください。

＜注意事項＞

- ・本サイトの利用にあたっては、本サイトの利用方法、提供している情報の意味を十分に確認、理解し、同意した上で利用してください。
- ・本サイトを使用することで生じた利用者の選好または懸念の損害については、利用者がその責任を負うものとし、福井県は一切の責任を負いません。
- ・本サイトで示している「土砂災害警戒区域・特別警戒区域」は、土砂災害の危険性があるとして定められている条件に適合する地域を調査結果から抽出したものであり、実際の土砂災害の発生や被害の範囲を示すものではありません。また、定められている条件以外の場所でも土砂災害が発生する可能性があるため、注意してください。
- ・表示に使用している地形図は、土地の境界を示すものではありません。また、精度を超える縮尺に拡大すると、表示位置や状況との差異が発生します。
- ・デジタル画像については撮影時点、地図等については作製時点からの経年差があるため、現況と一致しない場合があります。
- ・使用するブラウザは推奨ブラウザ、およびバージョン以外では一部の機能が制限される場合があります。
- ・福井県は本サイトの内容を予告なしに変更、削除したり、メンテナンスや停電等のため本サイトの提供を停止したり、あるいは本サイトを休止又は廃止する場合があります。
- ・本サイトにおける著作権の著作権は、特に表示のない限り福井県に帰属します。

（平成17年4月10日 制定） 福井県土木部防砂防災害課

- ・「土砂災害警戒区域・特別警戒区域」は、平成16～27年度に実施した土砂災害防止法基礎調査に基づいています。

同意してシステムを利用する



② 「この主題を選択」を選択します。

主題を選択してください			
担当部署名	主題名称	主題の説明	この主題を選択
土木部	土砂災害防止法	土木部 砂防防災課の管理する“土砂災害防止法”警戒区域・特別警戒区域が表示されます	この主題を選択
土木部	雪崩危険箇所	土木部 砂防防災課の管理する雪崩危険箇所が表示されます	この主題を選択
農林水産部	山地災害／なだれ危険箇所	農林水産部 森づくり課が管理する山地災害危険地区などが表示されます	この主題を選択
なし	背景図	システムが表示する背景地図です	この主題を選択



③確認したい区域を選択します。

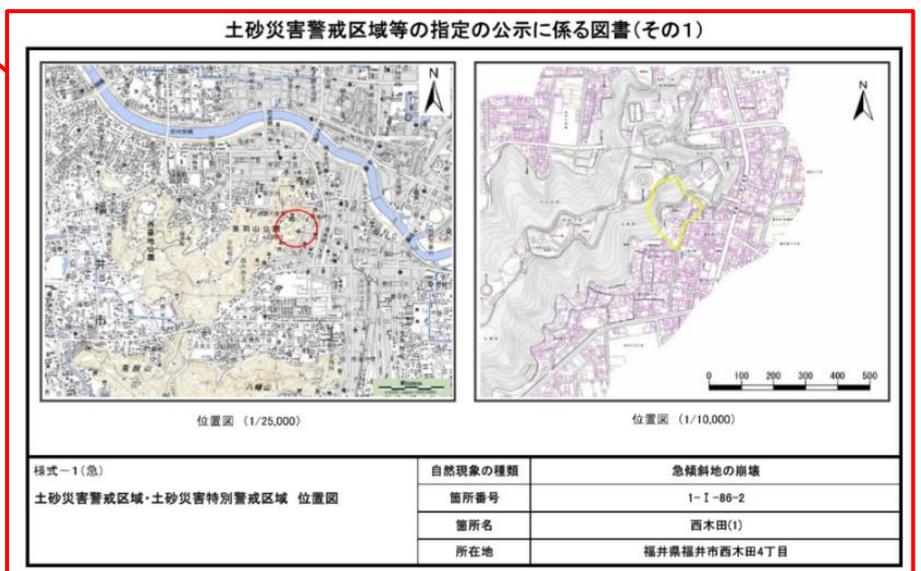
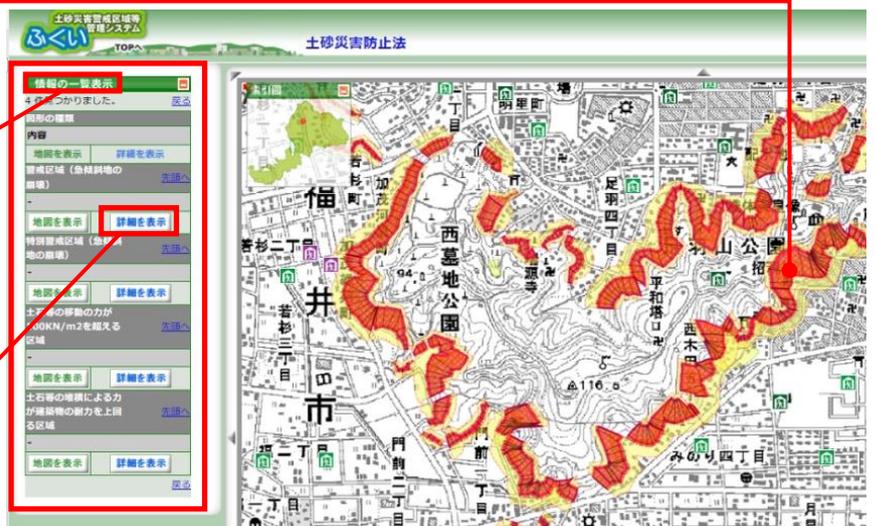
④確認したい区域を選択すると、左側に「情報の一覧表示」が表示されます。

⑤確認したい区域の「詳細を表示」が選択されます。

⑥対象の区域が赤く表示されます。

⑦PDFファイル名を選択します。

⑧公示に係る図書が表示されます。



Q 2 8 土砂災害のおそれがある区域とは何ですか。

A 2 8 土砂災害のおそれがある区域には、危険性などの違いにより「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）と「土砂災害特別警戒区域」（通称：レッドゾーン）に分けられます。

表 土砂災害警戒区域と土砂災害特別警戒区域の概要

種類	凡例	解説
土砂災害警戒区域 (通称：イエローゾーン)	⋮⋮⋮	がけ崩れ等が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域
土砂災害特別警戒区域 (通称：レッドゾーン)	□	がけ崩れ等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命または身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域

自宅が土砂災害のおそれがある区域内にある方は、土砂災害警戒情報や警戒レベル4（避難指示）が発令された時点ですぐに避難しましょう。

ただし、土砂災害警戒情報や警戒レベル4（避難指示）が発表・発令される前で、土砂災害の前兆現象が起きるなど、いつもと様子がおかしいと感じた場合は避難しましょう。

また、土砂災害警戒情報や警戒レベル4（避難指示）が発表・発令されてから長時間経ち、雨が弱まってから土砂災害が発生することもありますので、注意が必要です。

Q29 土砂災害のおそれがある区域内に住んでいます。どう避難すればよいですか。

A29 土砂災害は、その種類によって避難方法が異なるため、まず、Q27の「土砂災害警戒区域等管理システム」で、自宅にどのような種類の土砂災害が想定されているか確認しましょう。

土石流の場合は、土砂の流れる方向（谷すじ）に対し直角に避難しましょう。
がけ崩れの場合、斜面からできるだけ遠くに離れるように逃げましょう。

土石流の場合



谷すじに対し直角に

谷すじに対し直角方向に避難
図 土石流からの避難方法

がけ崩れの場合



できるだけ遠く

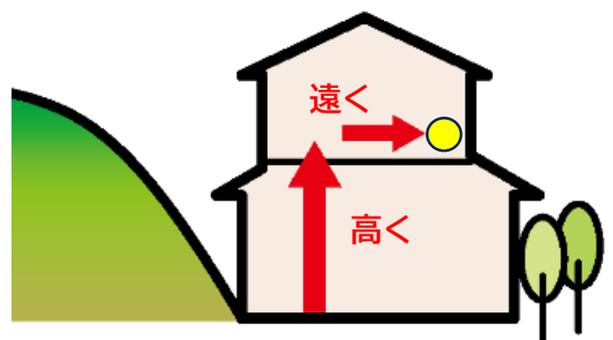
斜面からできるだけ遠くに避難
図 がけ崩れからの避難方法

もしも、逃げ遅れてしまったら・・・

土砂災害から身を守るには、立退き避難することが大切ですが、大雨による浸水や強風などにより、外に避難することがかえって危険な場合もあります。

がけ崩れの場合、2階建て以上の家にお住まいの方は、最上階の、斜面とは反対側の部屋へ避難するなど、安全を確保しましょう。

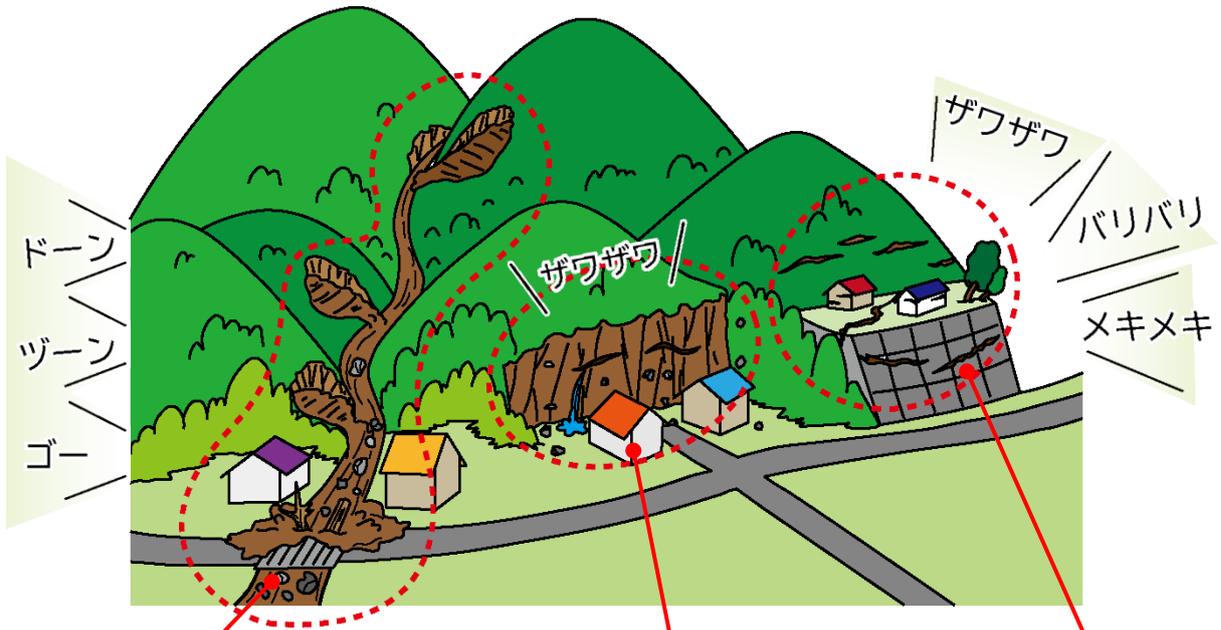
がけ崩れの場合



最上階の、斜面とは反対側の部屋への避難
図 逃げ遅れた際の、がけ崩れからの避難方法

Q30 土砂災害発生の前兆現象とはどのようなものですか。

A30



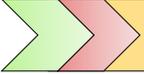
土石流	がけ崩れ	地すべり
<ul style="list-style-type: none"> ・急に川の水が濁り、流木が混ざり始める ・山鳴りがする ・降雨が続くのに川の水位が下がる 	<ul style="list-style-type: none"> ・がけにひび割れができる ・がけから水が湧き出る ・小石がパラパラと落ちてくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・井戸や沢の水が濁る ・地面がひび割れ・陥没する ・がけや斜面から水が噴き出す

図 前兆現象の例

出典：NPO法人 土砂災害防止広報センター

Q31 土砂災害のおそれがある区域の外は安全ですか。

A31 土砂災害警戒区域内、土砂災害特別警戒区域内の外の場合においても、土砂災害が発生する可能性はあるため、避難する際は山の斜面近くを避けるなどの注意が必要です。

 《避難情報について》

Q32 警戒レベルとはどのようなものですか。

A32 警戒レベルは、災害発生のおそれに応じて福井市が発令する5段階の情報です。

警戒レベル	状況	福井市が発令する情報	県・気象庁が「発表」
5	災害発生又は切迫	緊急安全確保	大雨特別警報 氾濫発生情報
～ 〈警戒レベル4までに必ず避難！〉 ～			
4	災害のおそれ高い	避難指示	氾濫危険情報 土砂災害警戒情報
3	災害のおそれあり	高齢者等避難	大雨・洪水警報 氾濫警戒情報
2	気象状況悪化	—	大雨・洪水注意報 氾濫注意情報
1	今後気象状況悪化のおそれ	—	早期注意情報

出典：国土交通省 避難情報に関するガイドライン（令和3年5月）

発令に応じた避難行動の例

警戒レベル	福井市が発令する情報	行動の例
5	緊急安全確保	すでに危険が切迫・発生しており、命を守る最善の行動をとる
～ 〈警戒レベル4までに必ず避難！〉 ～		
4	避難指示	土砂災害危険区域等 危険な場所にいる方は、全員速やかに避難する
3	高齢者等避難	避難に時間がかかる方や避難を支援する方、 早期の立退き避難が必要な方は、 安全な場所へ避難する
2	—	ハザードマップ等で、避難所や避難ルートを確認する
1	—	気象情報を確認し災害への心構えをする

出典：国土交通省 避難情報に関するガイドライン（令和3年5月）

Q33 避難情報はどのように入手すればよいですか。

A33 避難情報の入手方法は、表面の「1 情報の入手方法」に記載しています。防災行政無線、テレビやラジオ等、様々な媒体を活用し情報を入手しましょう。

豪雨時など、防災行政無線が聞き取りにくい場合は、電話でもその内容を確認することができます。詳細はQ35を確認してください。

表 避難情報(届く情報)の種類 (赤字 ⇒ 事前に登録が必要なもの)

名称	内容
防災行政無線	避難情報をサイレンや音声で流します
緊急速報メール (エリアメール)	災害や避難情報を配信します。
福井市防災気象情報メール	避難情報や気象情報等を配信します。
LINE (@fukuicity)	避難情報などを配信します。
Yahoo!防災速報 (アプリ)	避難情報や気象情報等を配信します。
i-ameメール (福井県河川・砂防総合情報メール)	河川や土砂災害の危険情報を配信します。

表 避難情報 (集める情報)の種類

名称	内容
福井市ホームページ	気象情報、避難情報などの災害情報を確認できます。
テレビ・ラジオ	テレビはdボタンから最新情報を確認できます。 ラジオは停電時の情報入手に有効です。
気象庁 (福井地方気象台)	雨や天気などの気象に関する情報を確認できます。
福井県河川・砂防総合情報	河川カメラや水位観測所の状況を確認できます。
国土交通省 川の水位情報	
Twitter (@Fukuicity_Bosai) Facebook (@Fukui.city.Bousai.Info)	気象情報や避難情報などの災害情報を確認できます。

福井市防災気象情報メールの登録方法

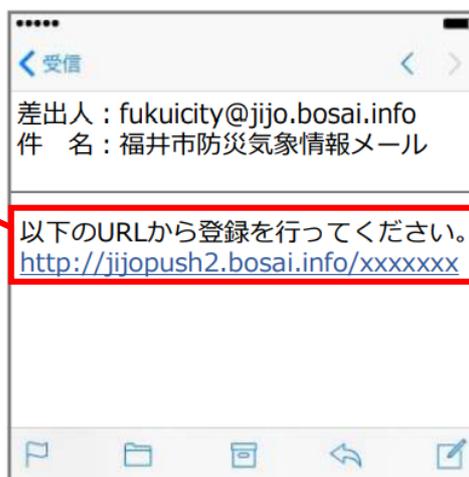
福井市防災気象情報メールは、現在使用しているメールを使い、指定された登録用のメールアドレス（fukuicity@jijo.bosai.info）に空メールを送ることで、登録用URLを記したメールが届きます。

- ① 登録用アドレスに、件名・本文を入力せずにメールを送信します。2次元コード対応の携帯電話をご利用の場合、右からアクセスできます。

fukuicity@jijo.bosai.info



- ② 届いたメールに記載されたからURLからインターネットに接続します。



メールを送信しても返信がない場合は・・・



登録用アドレスにメールを送信しても返信がない場合は次の内容を確認してください

登録用メールアドレスを確認する

新着メールの問合せを実施する

迷惑メール設定を確認する

@jijo.bosai.info からのドメイン許可

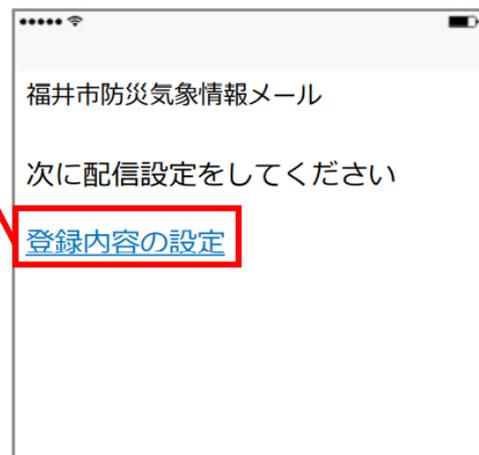
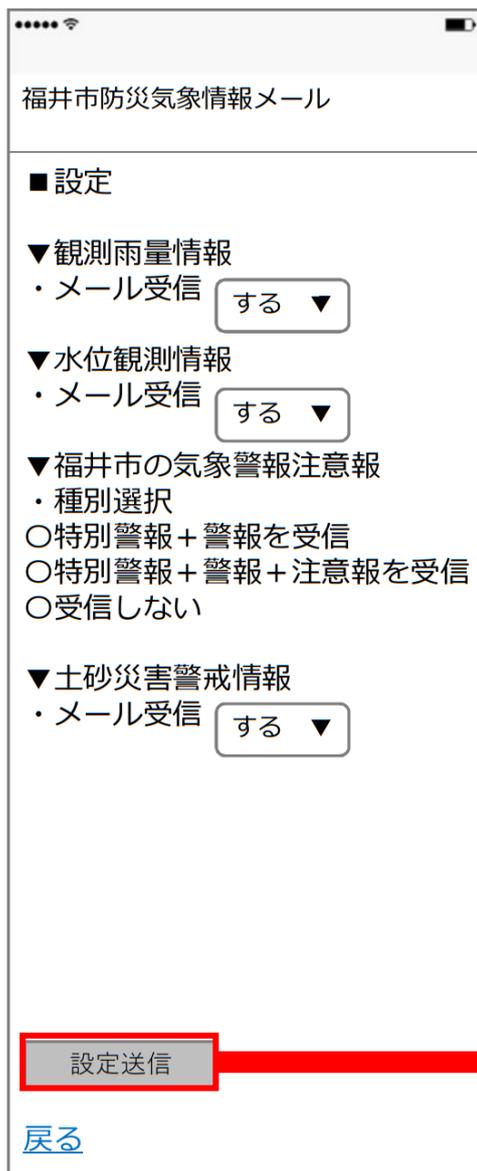
URL付きメール を許可

パソコンからのメール を許可

③ 「はい」を選択し、規約に同意します。



④ 画面に従って情報を登録します。



完了

福井市公式LINEアカウントの登録方法

福井市公式LINEの登録方法は、LINEをダウンロードしていない方は、まず、スマートフォンなどの携帯電話にLINEをダウンロードしてください。LINEサイトへのアクセスは福井市のホームページに掲載してありますので「LINEダウンロードページ」を選択しましょう。

LINEをダウンロードした方は、下記の2次元コードをスマホで読み取り、「福井市」を追加するか、LINEアプリのID検索から「@fukucity」を入力して登録してください。

<h3>福井市公式LINEアカウント</h3> <p>右の2次元コードから登録できます。</p>	2次元コード
	

携帯電話にLINEのインストール方法（LINEをダウンロードしていない方）

①スマートフォンなどの携帯電話にLINEをダウンロードしていない方は、福井市のホームページから「LINEダウンロードページ」を選択

福井市公式LINEアカウントと友だちになろう！

最終更新日 2021年3月15日 [印刷](#)

福井市公式LINEアカウント

福井市では、情報発信の強化を目的に、公式LINEアカウントを開設します。幅広い年代の方に利用されているLINEを新たな広報手段として活用し、市民一人ひとりにつながることで、行政情報をいち早くお届けします。

友だち登録の方法

はじめの方は、まずLINEをダウンロードしてください。
[LINEダウンロードページ](#) (新しいウィンドウが開きます)

次のいずれかの方法で友だち登録をお願いします。

②スマートフォンの仕様に応じて、ダウンロード先を選び、アイコンを選択することで、LINEがダウンロードされます。

- ・スマートフォンの仕様が「iPhone」の方は、Apple Storeのアイコンを選択しダウンロードしてください。
- ・スマートフォンの仕様が「Android」の方は、Google Playのアイコンを選択しダウンロードしてください。

LINEの登録手順（LINEを持っていない方）

LINEをインストールしたら・・・



福井市公式LINEアカウント登録手順（登録していない方）

2次元コードから登録する方

手順① 「ホーム」の右上の「友だち追加」のアイコンを選択

手順② 「友だち追加」のタブの2次元コードを選択

手順③ 福井市公式LINEの2次元コードを読み取る

福井市のホームページから2次元コードを表示する

友だち登録の方法

はじめての方は、まずLINEをダウンロードしてください。
[LINEダウンロードページ](#)（新しいウィンドウが開きます）

次のいずれかの方法で友だち登録をお願いします。

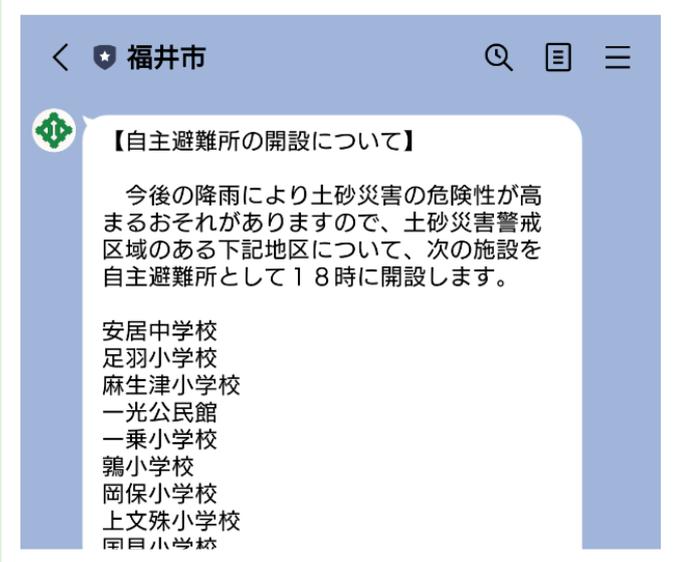
1. 下記のボタンからアクセス



手順④ 表示された福井市のアカウントから追加を選択

友だち追加 完了

指定避難所開設時に福井市公式LINEから通知が来る



< 福井市

【自主避難所の開設について】

今後の降雨により土砂災害の危険性が高まるおそれがありますので、土砂災害警戒区域のある下記地区について、次の施設を自主避難所として18時に開設します。

安居中学校
足羽小学校
麻生津小学校
一光公民館
一乗小学校
鶯小学校
岡保小学校
上文殊小学校
岡目小学校

Yahoo!防災速報（アプリ）の登録方法

Yahoo!防災速報（アプリ）は、iPhoneではApple Store（iOS11～対応）、AndroidではGoogle Play（Android5.0～対応）からダウンロードし、登録することができます。ダウンロード後、現在地の災害情報を受け取れる現在地連動通知機能や、現在お住まいの地域を設定してください。

必要に応じて、アプリ内の防災タイムラインの機能なども活用してみましょう。

Yahoo!防災速報（アプリ）

右の2次元コードから確認できます。

2次元
コード



手順① アプリをダウンロード後、初期設定を行います。



手順② 現在地の災害情報が得られるよう、現在地連動通知機能を設定します。



手順③ 通知を受け取る地域を設定します。



設定完了

i - a m eメール（福井県河川・砂防総合情報メール）の登録方法

i - a m eメールは、下記の2次元コードを読み取り、i - a m eメール登録を選択してください。登録には簡単登録と詳細登録の2種類（下表）があります。

<p>i - a m eメール （福井県河川・砂防総合情報メール）</p> <p>右の2次元コードから確認できます。</p>	<p>2次元 コード</p> 
---	--

表 簡単登録と詳細登録の概要

簡単登録	詳細登録
<p>配信を希望する「市町」を選択するだけの登録方法</p> <p>《配信される内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象市町の気象警報・特別警報 ・対象市町に流れる河川の洪水予報 ・対象市町の土砂災害警戒情報 ・対象市町の雨量警戒値 ・対象市町の「氾濫危険水位」 「避難判断水位」 	<p>配信を希望する「市町」や、希望する情報をご自身で詳細に設定する登録方法</p> <p>《選択可能内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町 ・気象注警報、警報、特別警報 ・洪水予報 ・土砂災害警戒情報 ・雨量「時間雨量注意値」 「時間雨量警戒値」 「24時間雨量注意値」 ・水位 「氾濫危険水位」 「避難判断水位」 「氾濫注意水位」 「水防団待機水位」

① i-ameメール登録を選択し、登録画面に進みます。

福井県
河川・砂防総合情報

緊急のお知らせ

- ・ 緊急のお知らせです。

メニュー

- ! 水位情報
- ・ 雨量情報
- ・ 洪水予報情報
- ・ 土砂災害警戒情報
- ・ 気象警報・注意報
- ・ **i-ameメール登録**
- ・ お知らせ
- ・ 提供情報について

■ 特別警報あり

② 簡単登録の場合、簡単登録を選択することで、メールソフトが起動しますので、そのままメールを送信します。

「i-ame@ame.pref.fukui.lg.jp」を受信可能に設定してください。

簡単登録

配信を希望する「市町」を選択するだけです。

《配信される内容》

- ・ 対象市町の気象警報 特別警報
- ・ 対象市町に流れる河川の洪水予報
- ・ 対象市町の土砂災害警戒情報
- ・ 対象市町の雨量警戒値
- ・ 対象市町の「氾濫危険水位」「避難判断水位」

簡単登録

詳細登録

配信を希望する「市町」や、希望する情報をご自身で詳細に設定ができます。

※メールソフトがうまく立ち上がらない場合は、「regist@ame.pref.fukui.lg.jp」に空メールを送信してください。

※メール送信後、折り返し本登録用の案内メールが届きますのでそこから希望する情報を選択してください。

※本登録用のメールがお手元に届かない場合、利用者の迷惑メール防止機能を見直していただく必要があります。

「i-ame@ame.pref.fukui.lg.jp」を受信可能に設定してください。

③ メール送信後、折り返し本登録用案内メールが届きます。
【メール配信手続きURL】を選択します。

このメールは「i-ame メール
(福井県河川・砂防総合情報メール)」でメールアドレスをご登録いただく方へ送信させていただきます。以下の URL にアクセスし手続き画面にお進みくださいますようお願いいたします。

【メール配信手続きURL】
<http://i-ame.ame.pref.fukui.lg.jp/fukuimelмага/ame-mails/distribute/?prm=2938b3392d4203715b0ccdfb524d98cf939e8fda1d256e571a6a0441c4ad619e4375709f37f50ffc7e5f8b7950ac0371>

④ メールを受信したい市町を選択すると登録完了です。

i-ameメール
(福井県河川・砂防総合情報メール)

簡単登録

配信を希望する市町を選択してください。
選択後、「登録」を押していただき登録完了です。

配信希望地域

嶺北北部

福井市 あわら市 坂井市 永平寺町 越前町

嶺北南部

鯖江市 越前市 池田町 南越前町

奥越

大野市 勝山市

嶺南東部

敦賀市 美浜町 若狭町

嶺南西部

小浜市 高浜町 おおい町

登録

[↑ページTOPへ](#)

[・トップページへ戻る](#)

情報提供: 福井県土木部 砂防防災課・河川課

Q34 河川の水位はどうやって調べればよいですか。

A34 河川の水位は「川の防災情報」や「福井県河川・砂防総合情報」で調べることができます。

川の防災情報

川の防災情報では、国土交通省や都道府県が管理する水位観測所や水位計の水位を確認することができます。水位の観測点には、常時水位を観測している「水位観測所」と、水害などにより河川の水位が上昇した際に観測を開始する「水位計」があります。

表 水位観測所と水位計の違い

凡例	名称	概要
	水位観測所	常時観測
	水位計	水害などにより河川の水位が上昇した際に観測を開始

これら水位観測所や水位計はその色により状況を確認することができます。

例えば、水位観測所の場合は水位の上昇とともに緑色⇒黄色⇒赤色⇒紫色の順に色が変化します。

表 水位観測所と水位計の色と危険度の関係

水位観測所	水位計
 氾濫危険水位超過	 氾濫開始水位超過
 避難判断水位超過	 危険水位超過
 氾濫注意水位超過	 水位計測中
 水防団待機水位超過	 平常
 平常	 欠測
 基準水位なし	
 欠測	

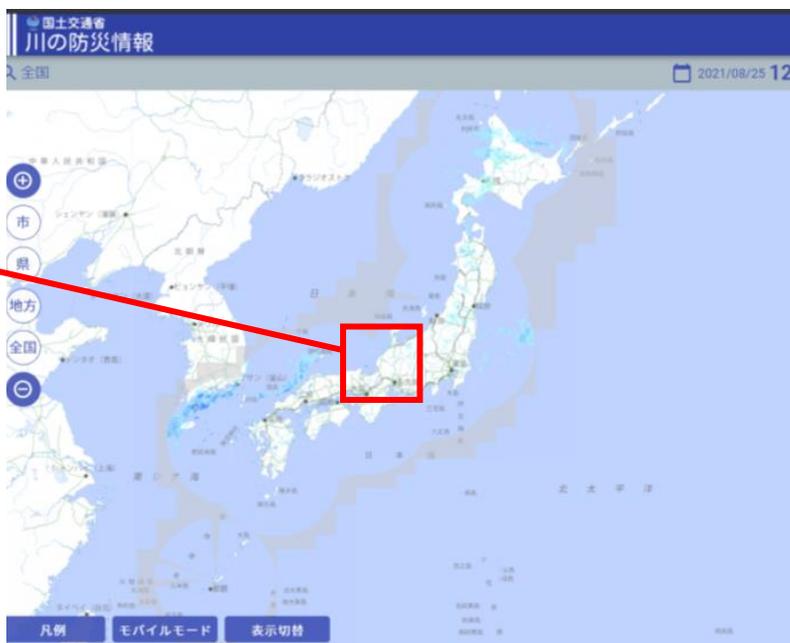
危険度 高 ↑

より詳細な水位は、川の防災情報のホームページ上から「地図から探す」を選択し、福井市の場所を表示してください。

①「地図から探す」を選択する

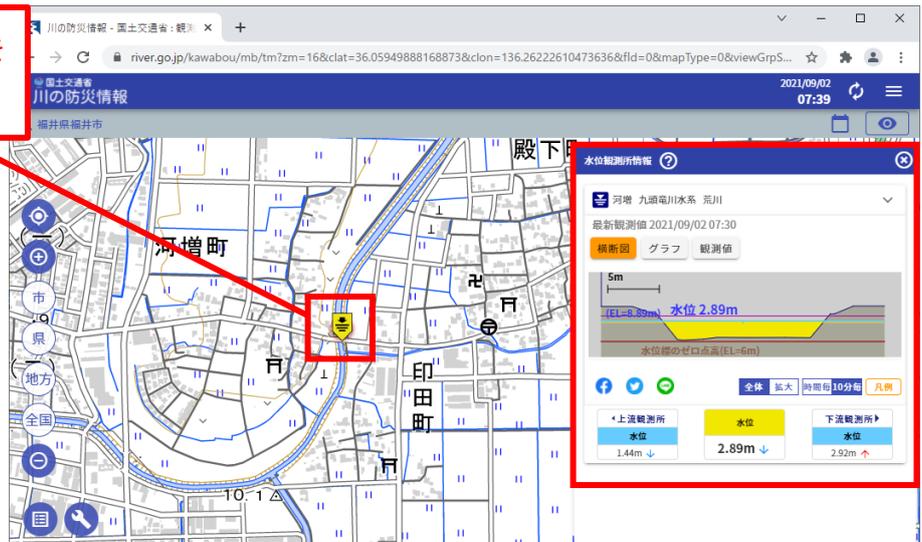


②福井市の場所を表示する

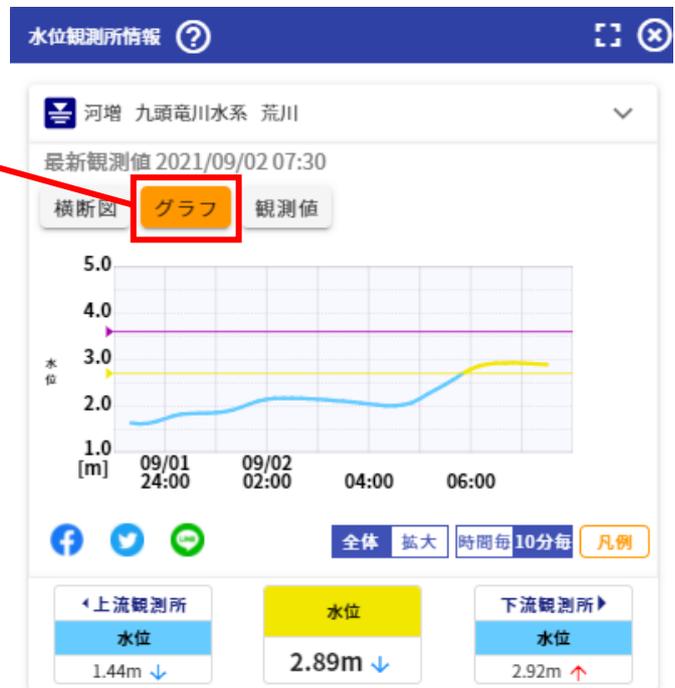


次に、水位観測所や水位計の位置を選択し、水位を確認してください。

③水位観測所や水位計を選択する



④水位の変化をグラフで確認したい場合はグラフを選択する



⑤水位の変化を断面図で確認したい場合は断面図を選択する



福井県河川・砂防総合情報

福井県河川・砂防総合情報では、福井県が観測している河川の水位を確認することができます。

福井県河川・砂防総合情報では、福井県が管理する水位観測所や水位計の水位を確認することができます。水位の観測点には、常時水位を観測している「水位観測所」と、水害などにより河川の水位が上昇した際に観測を開始する「危機管理型水位計局」があります。

表 水位観測所と水位計の違い

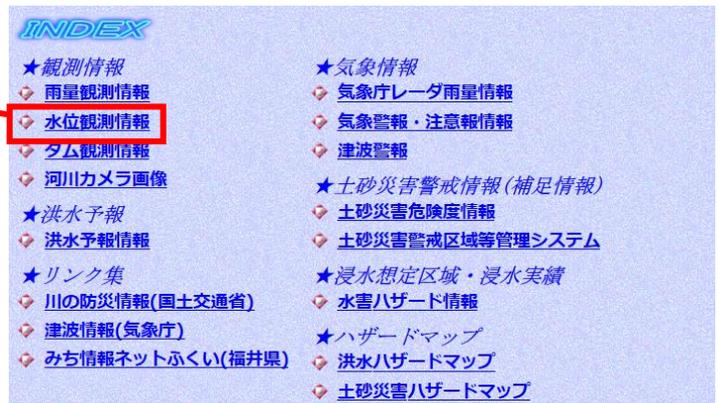
凡例	名称	概要
	水位観測所	常時観測
	危機管理型水位計局	水害などにより河川の水位が上昇した際に観測を開始

表 水位観測所と水位計の色による危険度

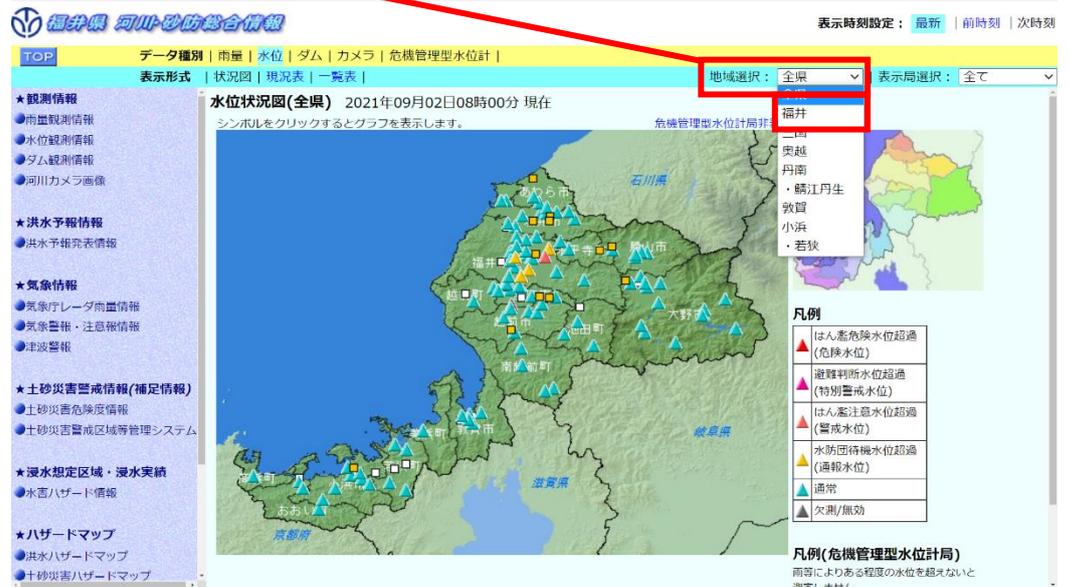
水位観測所		危機管理型水位計局	
	はん濫危険水位超過 (危険水位)		危険水位超過
	避難判断水位超過 (特別警戒水位)		観測開始水位超過
	はん濫注意水位超過 (警戒水位)		平常水位
	水防団待機水位超過 (通報水位)		欠測/無効
	通常		
	欠測/無効		

危険度 ↑ 高

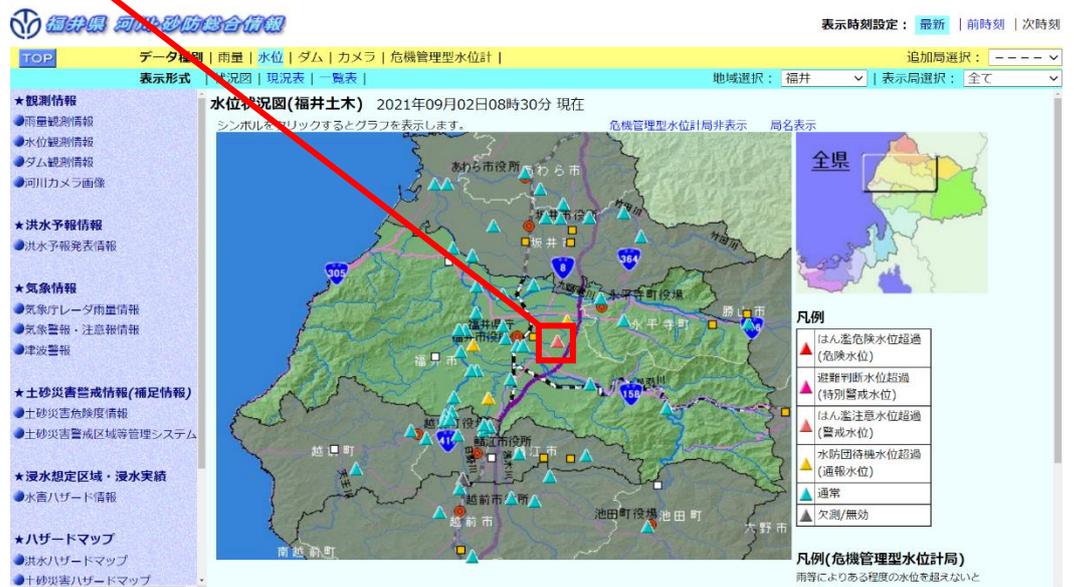
①水位観測情報を選択



②地域選択から「福井」を選択



③水位観測所を選択



④水位グラフや観測データを確認

水位グラフ - Google Chrome

保護されていない通信 | ame.pref.fukui.jp/bousai/service/bousaiweb.servletBousaiGraph?uniq=1278283827&sb2=1&mnflg=...

水位グラフ

表示期間: 01 日

観測局情報			
観測所名	河増	河川名	荒川
所在地	福井市河増町	管理者名	福井土木

水位[m]

零点高 (T. P) 河床 (川底)
6.00 m 6.17 m

09:00 15:00 21:00 03:00 09:00
09/01 09/02

警報値表示

水位

凡例

- 水位[m]
- はん濫危険水位(3.60m)
(危険水位)
- 避難判断水位(— m)
(特別警戒水位)
- はん濫注意水位(2.70m)
(警戒水位)
- 水防団待機水位(2.50m)
(通報水位)

観測データ (09/01 10 : 00—09/02 09 : 00)

月/日	09/01											データ表示	
時 : 分	10 : 00	11 : 00	12 : 00	13 : 00	14 : 00	15 : 00	16 : 00	17 : 00	18 : 00	19 : 00	20 : 00	21 : 00	簡易帳票 表示
水位	1.36	1.36	1.36	1.36	1.35	1.35	1.35	1.35	1.35	1.35	1.40	1.63	
月/日	09/01								09/02				最新
時 : 分	22 : 00	23 : 00	24 : 00	01 : 00	02 : 00	03 : 00	04 : 00	05 : 00	06 : 00	07 : 00	08 : 00	08 : 30	
水位	1.74	1.67	1.72	1.85	2.14	2.14	2.04	2.15	2.79	2.92	2.81	2.73	

《防災行政無線について》

Q35 以前、防災行政無線からの放送が雨で聞こえませんでした。どうすればよいですか。

A35 防災行政無線は、できるだけ多くの方に聞こえるよう、周辺の地形などをもとにスピーカーの位置や向き音量などを調整しています。しかし、豪雨や強風などの影響により、聞き取りづらい場合があります。

内容がうまく聞き取れない時や聞き逃した時には「防災情報自動応答テレホンサービス（0776）25（ニッコリ）-2914（フクイシ）」をご利用ください。

防災情報自動応答テレホンサービス（ニッコリ、フクイシ）

電話番号 (0776) ^{ニッコリ}25-^{フクイシ}2914

利用上の注意点

- ※ このサービスは災害時の緊急放送の内容を再確認するためのものです。災害が発生していない平常時では、「ただいま、防災情報はありません」という案内放送が流れます。
- ※ 電話が混み合っている場合はつながりにくいことがあります。
- ※ 本サービスを利用する際、通話料金が発生します。
- ※ 電話のかけ間違いにご注意ください。

福井市では防災行政無線のほか、緊急速報メール（エリアメール）やテレビ・ラジオ、登録制の防災気象情報メール、Yahoo!防災速報（アプリ）、LINEなどのSNS、ホームページなどの様々な媒体を活用して情報をお伝えします。

Q36 停電時でも、防災行政無線からの放送は聞こえますか。

A36 防災行政無線については、停電時でも放送ができるように非常用発電機や蓄電池による対策を行っております。

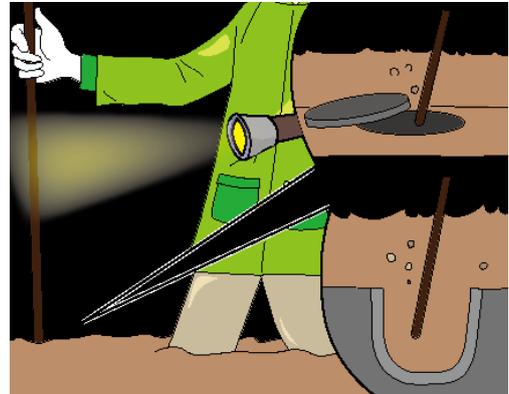
《立退き避難時に知っておくべきことについて》

Q37 暗い時間帯や降雨時、浸水時にはどのようなことに注意して避難したらよいですか。

A37 早朝や夜間などの暗い時間帯に加え、浸水後にやむを得ず立退き避難をする場合は、電柱、側溝やマンホールの蓋に注意をして避難してください。

避難する際は、棒などを杖代わりにし、懐中電灯などで視界を確保してください。

水深が浅くても、流れている水の中を歩くのはとても危険なので、浸水する前に早めの避難をしましょう。



Q38 車で避難しても大丈夫ですか。

A38 車での避難も可能ですが、車は、水深が30cmを超えるとエンジンが停止し、走行ができません。また、密閉された車内では、水圧の影響でドアが開きにくくなり脱出が困難となるなど危険を伴います。

そのため、車での避難は、道路が浸水する前に行うことが前提となります。

事前にハザードマップで地下道など浸水しやすい低い道路等の危険箇所の位置を確認し、これらを避けるように避難路を決めましょう。万が一車内に閉じ込められた場合は、窓ガラスを割って外に脱出するための専用ハンマーを備え付けておきましょう。



また、車が浸水した場合は、電気系統（エンジン・ヘッドライト等）からの漏電で火災の危険があるため、エンジンを止め、ロードサービスや販売店などに連絡しましょう。

Q39 地下道を使って避難しても大丈夫ですか。

A39 地下道は浸水する危険性が高いことから、地下道を通る避難路は避けましょう。避難の際は、事前にハザードマップで浸水しやすい低地や地下道等の危険箇所の位置を確認しましょう。

Q40 橋を渡って避難しても大丈夫ですか。

A40 川が増水している場合には、川の流れが速く、橋が壊されたり流されたりして非常に危険なため、近寄らないようにしましょう。やむを得ず橋を渡って避難しなければならない場合は、河川の水位が低い時点で、できる限り早めに避難しましょう。

Q41 災害用伝言ダイヤルとは何ですか。

A41 「災害用伝言ダイヤル」とは、被災地の方などの電話番号及び携帯電話等の番号をキーとして、安否等の情報を音声情報として蓄積し、録音・再生できるNTTが提供するサービスです。

また、災害等の発生時、被災地域（避難所等含む）の居住者がインターネットを經由して伝言板サイトにアクセスし、電話番号をキーとして伝言情報（文字）を登録する「災害用伝言版 Web171」もあります。この機能を体験利用できる日がありますので、ご家族や友人と体験してみましょう。

災害用伝言ダイヤルの使い方



災害用伝言ダイヤル 利用上の注意点

- ※ 記録できる伝言の上限は10までです。
- ※ 録音時間は30秒以内です。伝えたい言葉を前もって考えておきましょう。
- ※ 伝言保存期間は災害用伝言ダイヤルの運用期間終了までです。
- ※ 家庭内において日ごろから、録音する電話番号を決めておきましょう。
- ※ 聞かれたくないメッセージを録音する場合は、あらかじめ暗証番号を決めておく必要があります。
- ※ 通話料は、NTT東日本又はNTT西日本の電話で利用する場合は無料です。他の通信事業者の電話で利用する場合の通話料については、各通信事業者にお問い合わせください。

災害用伝言板 Web 171 の使い方

伝言（文字）を**書く**とき

インターネットが接続できるパソコン、
携帯電話、スマートフォンを用意

<https://www.web171.jp>

にアクセスする

自分の電話番号を入力する

固定電話の場合、市外局番から入力してください

画面の指示に従い

文字による伝言を**登録**してください

伝言（文字）を**読む**とき

インターネットが接続できるパソコン、
携帯電話、スマートフォンを用意

<https://www.web171.jp>

にアクセスする

自分の電話番号を入力する

固定電話の場合、市外局番から入力してください

画面の指示に従い

文字による伝言の**追加登録**をしてください

災害用伝言板 Web 171 利用上の注意点

- ※ 記録できる伝言の上限は20までです（災害の状況により変更となる場合があります。）。
- ※ 保存期間は最大6ヶ月です（災害の状況により変更となる場合があります。）。
- ※ 保存できる文字数は、伝言1件あたり100文字までです。
- ※ 家庭内において、日ごろから登録する電話番号を決めておきましょう。
- ※ 安否情報の登録や閲覧等に伴うサービス利用料は無料です。

なお、インターネット接続費用やプロバイダー利用料、通信料（ダイヤルアップ接続の場合）等が別途必要となります。

体験利用が可能な日について

- ・毎月1日および15日 00:00 ~ 24:00
- ・正月三が日（1月1日 00:00 ~ 1月3日 24:00）
- ・防災週間（8月30日 9:00 ~ 9月5日 17:00）
- ・防災とボランティア週間（1月15日 9:00 ~ 1月21日 17:00）

出典：NTT西日本「災害用伝言サービス「171」&「web171」

Q42 避難時は何を持って避難したらよいですか。

A42 避難所に避難する場合、自分ですぐに必要となるものは、自分で持参することが基本となっています。災害時には、ライフラインや流通ルートが寸断され、生活必需品の調達が難しくなり、公的機関による援助も行き渡るまでに時間がかかる場合があります。

そのような事態に備えて、家庭内で携行品や最低3日分（できれば7日分）の非常食、飲料水等の準備を行いましょう。避難時には携行品を身につけ、両手が自由に使えるようリュックサックに非常用持ち出し品を一度に運べる量や重さにまとめ持参しましょう。



【携行品の例】→常に身に付けておきましょう。

<input type="checkbox"/> 貴重品（財布、通帳など）	<input type="checkbox"/> 携帯電話、携帯ラジオ（連絡や情報収集手段の確保）
<input type="checkbox"/> 筆記用具（情報をメモで伝える）	<input type="checkbox"/> お薬手帳（服用している薬の情報を正確に伝えられる）
<input type="checkbox"/> ホイッスル（大きな音で助けを呼ぶ）	<input type="checkbox"/> 簡易救急セット（常備薬、ばんそうこう、ガーゼなど）

【非常用持ち出し品の例】→災害復旧までの数日間（最低3日分）生活できるよう準備しましょう。

<input type="checkbox"/> 非常食（乾パン、缶詰など火を通さなくても食べられる物）	<input type="checkbox"/> 衣類（下着、上着、タオルなど）
<input type="checkbox"/> 衛生用品（歯ブラシ、せっけん、生理用品など）	<input type="checkbox"/> 懐中電灯（予備電池も忘れずに）
<input type="checkbox"/> 感染症対策（マスク、消毒液、体温計、ウェットティッシュ、ペーパータオルなど）	

非常用持ち出し品を用意する上での注意

- ・小さい子どもや高齢者がいる家庭は、おかゆ等のやわらかい食べ物を準備しておきましょう。
- ・食物アレルギーがある方は、食物アレルギー対応の特定原材料を使用しない非常食もありますのであらかじめ準備しておきましょう。
- ・賞味期限が近づいたら日常の食事で消費し、買い足しましょう。
- ・避難時に両手が塞がらないよう、リュック等に必要な物品を入れて準備しておきましょう。
- ・ペットを飼っている方は、ペットフードやケージなどを用意しておきましょう。
- ・乳幼児がいる家庭は、粉・液体ミルクやおむつなどを用意しておきましょう。
- ・家が倒壊、浸水しても持ち出せるように玄関や寝室などに非常用持ち出し品を入れたリュック等を保管しておきましょう。

《避難行動について》

Q 4 3 洪水がすでに発生しているときはどうしたらよいのでしょうか。

A 4 3 洪水がすでに発生し逃げ遅れてしまった場合は、近くの高い建物に避難してください。浸水が発生し外への避難が危険な場合は、自宅のできるだけ高い場所へ避難してください。



Q 4 4 自宅の最上階が浸水しませんが、避難所へ避難したほうがよいのでしょうか。

A 4 4 原則、自宅の外へ避難することが必要ですが、3日間以上の食料が備えてある場合は、屋内の最上階へ避難することも可能です。

十分な備えがない場合や少しでも危険を感じた場合は、マップ裏面の「6つの避難行動」の中から選んだ避難先へ避難しましょう。

自宅の最上階へ避難する場合は、寝具や簡易トイレ、非常食など家庭内備蓄を備えておきましょう。

Q 4 5 自宅が土砂災害のおそれがある区域の中にあります。「いつ」、「どこに」避難したらよいのでしょうか。

A 4 5 土砂災害は、現在の技術でも予測が大変難しい災害です。土砂災害のおそれがある区域内にお住まいの方のうち、避難に支援が必要な人とその支援者は、警戒レベル3「高齢者等避難」が発令されたら、早めに避難をしてください。また、その他の人は、警戒レベル4「避難指示」が発令されたら、すぐに避難してください。

また、土砂災害警戒情報や警戒レベルが発表・発令される前であっても、土砂災害の前兆現象がある場合など、いつもと様子が異なると感じたときは速やかに避難を開始してください。

Q46 自宅に避難する際には、何を備蓄したらよいですか。

A46 家庭内備蓄は、災害復旧までの最低3日分（できれば7日分）生活できる量を準備してください。可能であれば自宅内に水が浸水しないよう止水板や土のう等も用意しておきましょう。



家庭内備蓄品

【家庭内備蓄の例】

<input type="checkbox"/> 食品（レトルト食品やミルクなど）	<input type="checkbox"/> トイレ（携帯トイレなど）
<input type="checkbox"/> 飲料水（1人1日3ℓが目安）	<input type="checkbox"/> 燃料（カセットコンロ、予備ボンベ、固形燃料など）
<input type="checkbox"/> 生活用品（紙おむつ、ドライシャンプー、濡れタオルなど）	

【高齢者や赤ちゃんのための準備】

粉・液体ミルクやおかゆ、紙おむつなどの準備も忘れないようにしましょう。

【期限切れに注意】

備蓄品の点検を定期的に行い、賞味期限切れや使用期限切れに注意しましょう。

【家庭の事情にあわせて準備】

アレルギーに対応した食品など、家庭の事情にあわせた準備をしましょう。

【食料の目安 計算式】 1人1日分の食料 × 3日以上 × 家族人数分（ 人）

Q47 浸水しないので自宅の最上階に避難しようと思います。どんな問題が発生しますか。

A47 浸水継続時間が長い場所にお住まいの方が垂直避難する場合、安全が確保されるまでの水や食料、薬の備蓄のほかに、生活環境が悪化するリスクがあることについても理解しておきましょう。

例えば、電気、ガス、水道、トイレなどのライフラインが使えずに長期間孤立することで、簡易トイレが汚物で一杯になることや、エアコンや冷蔵庫が使えなくなり熱中症や食中毒などの病気にかかることなど、生活環境が悪化するリスクが高くなります。

浸水継続時間については、Q30「浸水継続時間とは何ですか。」で確認しましょう。

浸水継続時間が長い場所で起こる生活環境の悪化の例

- ① 備蓄していた水や食料等が底をつく
- ② 断水によりトイレなどが使用できず簡易トイレが汚物で一杯になり、衛生環境が悪化する
- ③ 病人が出た場合に対応が難しくなる
- ④ 定期的な診療が必要な人が適切な診療を受けられなくなる
- ⑤ 停電によりエアコンが止まり熱中症にかかる
- ⑥ 停電によりテレビや電話、ラジオが使えず、情報が得られなくなる
- ⑦ エレベータが止まり、階段での移動を余儀なくされる



図 自宅にとどまった場合の生活環境の悪化説明例

出典：国土交通省「洪水ハザードマップ作成の手引き」平成28年（P71～72）

《避難所について》

Q48 避難所にはどのような種類があるのですか。

A48 避難所は、種類によって役割が異なります。福井市の場合、災害により家に戻れなくなった被災者が一定期間生活する施設として「指定避難所」を、日常生活に介助が必要な方向けの施設として「福祉避難所」を定めています。

避難所は変更となる場合がありますので、最新の避難所情報を下記の2次元コードから確認してください。

表 避難所の種類と役割

凡例	種類	役割
	最初が開く 指定避難所	指定避難所のうち、災害の発生するおそれがある時に <u>一番最初</u> に開く <u>指定避難所</u>
	指定避難所	災害の危険があり避難した住民等を、災害の危険がなくなるまで必要な期間滞在する施設 災害により家に戻れなくなった被災者が一時的に滞在する施設
	福祉避難所*	公民館や小学校等の指定避難所では、避難生活を送ることが困難で、日常生活に介助が必要な方を受け入れる施設

※ 福祉避難所は、平常時には入所・通所施設として運営されており、災害時には施設の安全や職員の配置などの確認を行った上で空きスペースなどを利用して開設されるため、現在のところ、災害発生当初から開設することは原則としてありません。

<h3>最新の指定避難所</h3> <p>福井市ホームページ：指定避難所・指定緊急避難場所 右の2次元コードから確認できます。</p>	<p>2次元 コード</p> 
---	--

Q49 浸水などで利用できなくなる避難所はありますか。

A49 利用できなくなる避難所は記載しておりません。

ただし、一部の指定避難所では、浸水状況に応じて垂直避難が必要となる場合があります。

例：豊小学校（最初に開く指定避難所）の場合

基本想定において1階の浸水が想定されており、2階以上への避難が必要な場合があります。

例：宝永小学校（最初に開く指定避難所）の場合

最大想定において2階の浸水が想定されており、3階への避難が必要な場合があります。

基本想定では… 豊小学校の場合 1階が浸水 ⇒ 2階以上へ避難

地区名	施設名	避難時に利用可能な階数		建物階数(階)
		基本想定	最大想定	
豊	豊小学校 <small>豊地区で最初に開く避難所</small>	2階以上	3階	3
	花堂保育園	2階	2階	2
足羽	足羽小学校 <small>足羽地区で最初に開く避難所</small>	3階	3階	3
	足羽公民館	3階	3階	3
	自然史博物館	1階以上	1階以上	3
宝永	宝永小学校 <small>宝永地区で最初に開く避難所</small>	2階以上	3階	3
	宝永公民館	2階以上	3階	3
	職員会館ビル	2階以上	3階以上	4・地下1
	福井合同庁舎	2階以上	3階以上	6
	仁愛女子高等学校	2階以上	3階以上	6

最大想定では… 宝永小学校の場合 2階が浸水 ⇒ 3階へ避難

Q50 指定避難所は「いつ」、「どこが」開きますか。

A50 福井市は、降雨や浸水の状況を総合的に判断し、指定避難所を開設します。
福井市が発令する警戒レベルなどの避難情報にしたがって避難してください。
指定避難所を開設した場合は、福井市ホームページのほか、テレビや防災行政無線などによりお伝えします。

Q51 地区外の避難所へ避難してもよいのでしょうか。

A51 地区外の指定避難所の利用も可能ですが、地区内の避難先よりも移動する距離が遠くなるため、早めの避難が必要です。

Q52 どのような避難方法がありますか。

A52 「避難」とは、災害などの「難」をうまく「避」けることです。

「自らの命は自らが守る」ことを基本とし、以下の6つ避難行動を参考に、指定避難所以外の避難先についても考えておきましょう。

表 6つの避難行動(1/2)

避難行動		利点	欠点
1	 <p>安全な親戚・知人宅への立退き避難</p>	<ul style="list-style-type: none"> 指定避難所などに比べ、他人と密集する機会が減ることによって感染症にかかる危険性が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> 前もって、災害に対し安全かどうかを調べておく必要がある。 前もって、親戚や知人と相談しておく必要がある。 遠方にある場合、逃げ遅れにより使用できなくなる。
2	 <p>安全なホテル・旅館への立退き避難</p>	<ul style="list-style-type: none"> 指定避難所などに比べ、他人と密集する機会が減ることによって感染症にかかる危険性が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> 前もって災害に対し安全かどうかを調べておく必要がある。 宿泊料金がかかる。 事前に予約が必要。 遠方にある場合、逃げ遅れにより使用できなくなる。
3	 <p>高台への立退き避難</p>	<ul style="list-style-type: none"> 車で避難する場合、指定避難所などに比べ、人が密集する機会が減ることによって感染症にかかる危険性が低い。 自宅近くにある高台を利用できるため、比較的短時間で安全な場所に避難できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 避難するときに、土砂災害のおそれがある区域を通る危険性があるため、早めに避難する必要がある。 水や食料、携帯電話などの連絡手段などを持参の上、避難する必要がある。
4	 <p>屋内安全確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> 指定避難所などに比べ、他人と密集する機会が減ることによって感染症にかかる危険性が低い。 逃げ遅れた場合でも避難することができる。 水や食料などを準備することで、プライバシーが保たれた状態で避難することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 停電や断水において浸水が長時間にわたり続いた場合、衛生環境が悪化する。 自宅の最上階の浸水が想定されていたり、土砂災害のおそれがある区域、家屋倒壊等氾濫想定区域内にお住まいの方は屋内安全確保ができない。

表 6つの避難行動（2/2）

避難行動		利点	欠点
5	 <p>指定避難所への 立退き避難</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・頑丈な施設により、洪水や土砂災害などの災害時でも安全に避難することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他人と密集することで、感染症にかかる危険性が高くなる。 ・危険を感じ、避難したいと感じていても、避難所が開かれるまで避難できない。 ・多くの人が一か所で生活するため、自宅などに比べプライバシーが保たれず、ストレスが溜まる。
6	 <p>地区が協定を締結した企業等への立退き避難</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地区ごとに協定を結び確保した、一時的な避難場所であるため、逃げ遅れた際、比較的頑丈な建物への一時避難を行うことができる。 ・協定を結んだ地区や自治会住民の避難を想定しているため、比較的なじみのある避難路を使って避難することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・原則として協定を結んだ地区や自治会住民の避難を想定しており、ハザードマップには位置を表示されていません。また、受け入れることができる人数に限りがある。 ・他人と密集することで、感染症にかかる危険性が高い。

Q53 土砂災害のおそれがある区域内的の指定避難所は安全でしょうか。

A53 一部の指定避難所は、土砂災害のおそれがある区域内にあります。鉄筋コンクリートで造られていることから土砂災害時も安全が確保できると考えられています。

Q54 指定避難所までが遠く、徒歩で避難できません。どうしたらよいですか。

A54 長距離避難の場合は、車を使用することも一つの手段です。車で避難する場合の注意事項については、Q38を確認しましょう。

Q55 地区と協定を結んだ企業の避難場所はどこにありますか。

A55 地区との協定により企業が提供する避難場所は、受け入れ可能人数に限りがあり、協定を結んだ地区や自治会住民のみが避難できる場所です。

協定の締結を考えている地区や企業などの方は、危機管理課（0776-20-5234）までご連絡ください。

なお、県のホームページにて、地域・企業防災連携推進事業により、地区への避難場所の提供に協力している企業について掲載されています。

Q56 新型コロナウイルスに対してどのような対策を行っていますか。

A56 多くの地区では、小学校が「最初に関く指定避難所」に指定されています。

避難の際は、新型コロナウイルス等の感染症を予防するため、マスクの着用や手の消毒に加え、検温や問診票の記入にご協力をお願いします。また、発熱や咳などの症状がある方や体調に不安がある方は、福井市職員に申し出てください。

避難をするスペースでは、世帯ごとに間隔を空けるとともに、中長期の避難生活となった際には、ダンボール製の間仕切りを設置するなどの感染症対策を行います。

指定避難所で気を付けていただくこと

- ① 指定避難所では、マスクの着用や手洗いの徹底などの感染症対策にご協力をお願いします。
- ② 指定避難所では、全ての避難者の方に対して十分な衛生用品等を準備できない場合があります。このため、日ごろから準備している携行品（食料や常備薬等）に加え、衛生用品（下表）の事前準備と、指定避難所への持参にご協力をお願いします。

【衛生用品の例】

<input type="checkbox"/> マスク	<input type="checkbox"/> 消毒液	<input type="checkbox"/> ウェットティッシュ	<input type="checkbox"/> ペーパータオル	<input type="checkbox"/> タオル
<input type="checkbox"/> 体温計	<input type="checkbox"/> ビニール手袋	<input type="checkbox"/> スリッパ（室内履き）	<input type="checkbox"/> 水を使用しない歯磨きセット	<input type="checkbox"/> ビニール袋

指定避難所内のダンボール製間仕切りについて

感染症の疑いがある方が避難してきた場合に、ダンボール製の間仕切り設置し、専用スペースを設けるなどのために使用します。

Q57 国内における豪雨の発生件数はどのように変化していますか。

A57 地球温暖化の影響により、1時間に50mm以上の非常に激しい雨は、1976年から1985年までにおいて年平均174回であったのに対し、2008年から2017年までにおいては、年平均238回へ約1.4倍(下図)となっています。

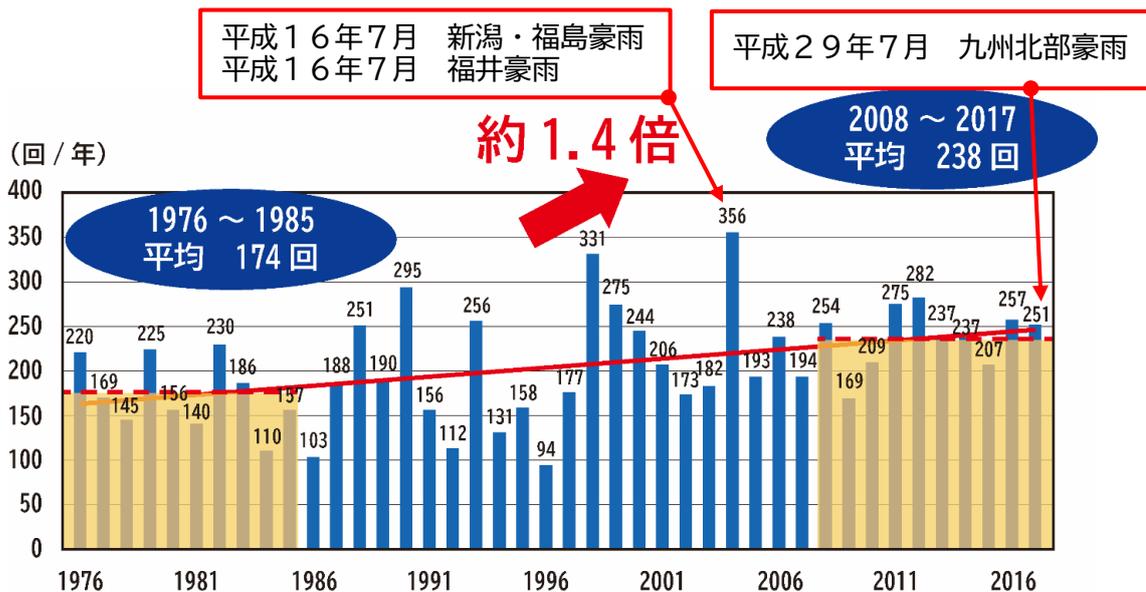


図 1時間に50mm以上の雨の発生件数の推移 (昭和51年～平成29年)

出典：気象庁「異常豪雨の頻発化に備えたダムの洪水調節機能と情報の充実に向けて」2018に加筆

Q58 国内では、年間、何件の土砂災害が発生していますか。

A58 国内では、年間1,000件を超える土砂災害が発生しており、特に平成30年には、「平成30年7月豪雨」など、全国で3,459件の土砂災害が発生しました。これは、昭和57年の集計開始以降最多の件数となっています。

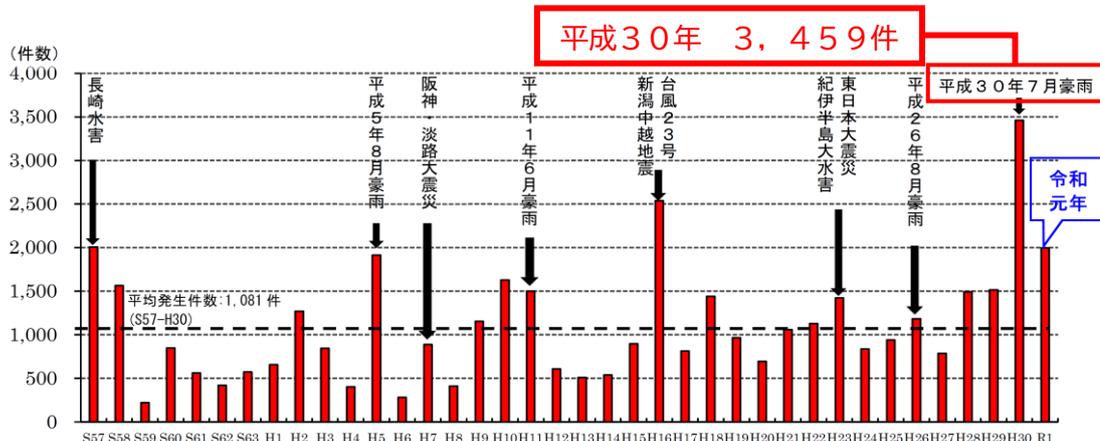


図 土砂災害発生件数の推移 (昭和57年～令和元年)

出典：国土交通省 「令和元年の土砂災害発生件数が確定しました」2020に加筆

Q59 他自治体や企業との災害時の協力（災害時応援協定）にはどのようなものがありますか。

A59 災害発生時において、応急対策や復旧活動を円滑に行うため、自治体、関係機関、関係団体との災害時応援協定を締結しています。

【自治体との締結状況】

締結先	協定名	締結日
川崎市	災害時における相互援助協定	S44.7.25
金沢市、富山市	北陸3都市災害時相互応援協定	H7.8.7
新潟市、仙台市、島原市、墨田区、静岡市、釧路市	自治体防災情報ネットワーク連絡会加盟都市災害時相互応援に関する協定	H8.7.1
上川郡清水町、駿東郡清水町、有田郡有田川町	全国清水町災害応援協定（旧清水町）	H8.8.27
丹羽郡扶桑町	災害時における相互応援に関する協定（旧美山町）	H9.10.1
熊本市	熊本市及び福井市災害時相互応援に関する協定	H9.11.21
安八郡安八町	災害時における相互応援に関する協定（旧越廼村）	H15.2.17
福井県、県内16市町	福井県・市町災害時相互応援協定	H28.9.16
中核市61市	中核市災害相互応援協定	R3.4.1

【民間企業、各種団体との締結状況（一部）】

締結先	協定名	締結日
福井県石油業協同組合	災害時における石油燃料の優先供給に関する協定	H21.2.19
一般社団法人福井県建築工業会福井支部	災害時における公共建築物等の応急対策に関する協定	H21.2.19
一般社団法人福井県公共嘱託登記土地家屋調査士協会	災害時における家屋被害認定調査等に関する協定	H24.3.28
一般社団法人福井地区建設業会	災害時における公共土木施設の応急対策に関する協定	H25.4.1
一般社団法人福井市医師会	災害時の医療救護活動に関する協定	H27.4.1
公益社団法人福井県獣医師会	災害時における動物救護活動に関する協定	H27.3.18
福井県民生活協同組合	災害時における生活物資の供給協力等に関する協定	H27.11.18
ヤフー株式会社	災害に係る情報発信等に関する協定	H28.10.17
西日本電信電話株式会社	特設公衆電話の設置・利用に関する協定	R1.10.31
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 福井支店	広域自然災害時の共同取組に関する覚書	R2.1.8
協同組合福井ショッピングモール	災害時における被災者への支援活動に関する協定	R2.12.14
ユニー株式会社アピタ福井大和田店	災害時における物資供給等に関する協定	R2.12.14
福井トヨタ自動車株式会社 他 県内トヨタ関連4社	避難所等における外部給電可能な車両からの電力供給に関する協定	R3.7.28

Q60 自助・互助・共助・公助とは何ですか。

A60 自助・互助・共助・公助の意味は、以下のとおりです。

大規模な災害の発生直後、国や自治体、防災機関による「公助」が行き届くまでの間、「自助」「互助」「共助」を中心に対応していくことが大切です。

表 自助・互助・共助・公助の解説

役割	説明
自助	<u>自らの命を自らが守ること。</u> すべての人が自分自身の身を守るために全力を尽くさなければなりません。まず、自分がケガをせずに生き残ることが基本です。
互助	ケガをせず生き残れたら、次に「家族や近所、友人と助け合う」です。周りを見渡して、助けを求める人がいないか、確かめましょう。
共助	家族や近所の安全が確認できたら、次は「地域の安全はみんなで守る」です。自主防災組織のような地域コミュニティを中心とした単位で、助け合いましょう。
公助	「国や自治体、防災機関などによる救助・災害支援活動」。 災害の規模が大きくなるほど公助による住民への迅速な援助は期待できません。効果的な公助の展開には発災後1週間はかかると考えておく必要があります。

Q61 印刷された福井市洪水・土砂災害ハザードマップはどこでもらえますか。

A61 印刷された福井市洪水・土砂災害ハザードマップは、令和4年3月初旬ごろに全戸配布する予定です。また、同時期に河川課窓口においても配布を開始する予定です。

Q62 マップの軽量版と高画質版はどのように使い分ければよいのでしょうか。

A62 高画質版は、パソコンなどの比較的大きな画面での利用を想定しています。
軽量版は、スマートフォンなどの比較的小きな画面での利用を想定しています。軽量版の場合、拡大することで文字などの画質が低く、読みづらさを感じる場合もありますので、適宜使い分けをお願いいたします。

Q63 マップはどこに保管すればよいですか。

A63 畳んだまま本棚などに入れてしまうと、災害時に素早く確認できません。

冷蔵庫や玄関先などの目立つ場所に貼っておくか、袋に入れて吊るすなど、素早く確認できるよう保管方法の工夫をしましょう。

Q64 出前講座や市民説明会を開いてもらうことはできますか。

A64 福井市では、市政出前講座を開催しています。自治会などの各種団体の勉強会、職場での研修、サークル活動などの機会にご利用ください。

市政出前講座の詳細は、市民サービス推進課（0776-20-5303）にお問い合わせください。

【福井市政出前講座の申込方法】

- ※ 利用をご希望の方は、申込用紙に必要事項を記入の上、開催を希望する3週間前までに市民サービス推進課窓口、電子メール、FAX、または郵送でお申込みください。申込書はホームページからもダウンロードできます。
- ※ お申込みの際は「新型コロナウイルス感染拡大防止対策チェックシート」の内容をご確認いただき、記入の上、申込書と共にご提出をお願いします。
- ※ 申込書が届きましたら、テーマを担当する課からご連絡し、開催日時や講座内容について打ち合わせをさせていただきます。



あ行……………P 8 1

No. 1	うがん 右岸	No. 18	こうずい 洪水
No. 2	えっすい 越水	No. 19	こうずいけいほう 洪水警報
No. 3	おおあめけいほう 大雨警報	No. 20	こうずい 洪水シミュレーション
No. 4	おおあめちゅういほう 大雨注意報	No. 21	こうずいしんすいそうていくいきず 洪水浸水想定区域図
No. 5	おおあめとくべつけいほう 大雨特別警報	No. 22	こうずいちゅういほう 洪水注意報
No. 6	おくないあんぜんかくほ 屋内安全確保	No. 23	こうずいよほう 洪水予報

か行……………P 8 2

No. 7	かせん 河川カメラ（ライブカメラ）
No. 8	かていないびちく 家庭内備蓄
No. 9	かどうへいそく 河道閉塞
No. 10	かんそくかいしすい 観測開始水位
No. 11	ききかんりがたすいけいきよく 危機管理型水位計局
No. 12	きけんすい 危険水位
No. 13	きしょうじょうほう 気象情報
No. 14	きんきゅうあんぜんかくほ 緊急安全確保
No. 15	けいかくこうすい 計画高水位
No. 16	けっかい 決壊
No. 17	けっそく 欠測

さ行……………P 8 5

No. 24	こうれいしゃとうひなん 高齢者等避難
No. 25	ざいたくひなん 在宅避難
No. 26	さがん 左岸
No. 27	じかんうりょう 時間雨量
No. 28	じしゅぼうさいかつどう 自主防災活動
No. 29	じしゅぼうさいそしき 自主防災組織
No. 30	しせん 支川
No. 31	じぼんだか 地盤高
No. 32	しゅうちゅうごう 集中豪雨
No. 33	しんすいじっせき 浸水実績
No. 34	すい 水位

No. 35	すいいかんそくじよ 水位観測所
No. 36	すいがい 水害
No. 37	すいがい 水害リスク図
No. 38	すいけい 水系
No. 39	すいちよくひなん 垂直避難
No. 40	すいへいひなん 水平避難
No. 41	すいぼうだんたいきすい 水防団待機水位 (通報水位)
No. 42	すいぼうほう 水防法
No. 43	せんじょうこうすいたい 線状降水帯
No. 44	ぜんちょうげんしょう 前兆現象
No. 45	そうりょう 総雨量
No. 46	そうきちゅういじょうほう 早期注意情報
No. 47	そっせんひなんしゃ 率先避難者

た行……………P90

No. 48	だいきほもりどそうせいち 大規模盛土造成地
No. 49	たかしお 高潮
No. 50	たちのひなん 立退き避難
No. 51	いけ ため池
No. 52	ちいき 地域コミュニティ
No. 53	つなみ 津波

No. 54	ていがいち 堤外地
No. 55	ていないち 堤内地
No. 56	ていぼう 堤防
No. 57	てんば 天端
No. 58	どしゃさいがいけいかいじょうほう 土砂災害警戒情報
No. 59	どしゃさいがいぼうしほう 土砂災害防止法

は行……………P93

No. 60	はいすいのうりよく 排水能力
No. 61	はせん 派川
No. 62	はっせいかくりつ 発生確率
No. 63	はてい 破堤
No. 64	はんらん 氾濫
No. 65	はんらんかいしい 氾濫開始水位
No. 66	はんらんきけんじょうほう 氾濫危険情報
No. 67	はんらんきけんすい 氾濫危険水位 (危険水位)
No. 68	はんらんけいかいじょうほう 氾濫警戒情報
No. 69	はんらんちゅういじょうほう 氾濫注意情報
No. 70	はんらんちゅういすい 氾濫注意水位 (警戒水位)
No. 71	はんらんはっせいじょうほう 氾濫発生情報
No. 72	ひじょうようもだ 非常用持ち出し品

- No. 73 ひなんかくほけいかく
避難確保計画
- No. 74 ひなんしじ
避難指示
- No. 75 ひなんじよ
避難所
- No. 76 ひなんじょうほう
避難情報
- No. 77 ひなんはんだんすいい とくべつけいかいすいい
避難判断水位 (特別警戒水位)
- No. 78 ぼうさいぎょうせいむせん
防災行政無線
- No. 79 ほうすいろ
放水路
- No. 80 ほんせん
本川

や行……………P96

- No. 81 ようはいりよしゃ
要配慮者

ら行……………P96

- No. 82 ライフライン
- No. 83 りゅういきめんせき
流域面積
- No. 84 りゅうりょう
流量

あ行

- No. 1 うが ん
右岸
- 河川を上流から下流(すなわち川の流れる方向)に向かって眺めたときの右側のこと。
- No. 2 えっすい
越水
- 増水した河川の水が堤防([No.56](#))の高さを越えてあふれ出す状態のことで、あふれた水が堤防の裏法(市街地側の斜面)を削り、破堤([No.63](#))を引き起こすことがあります。
- No. 3 おおあめけいほう
大雨 警報
- 大雨による重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表される警報のこと。
- No. 4 おおあめちゅういほう
大雨 注意報
- 大雨が原因となる浸水によって、災害が起こるおそれのある場合に発表される注意報のこと。
- No. 5 おおあめとくべつけいほう
大雨 特別 警報
- 台風や集中豪雨([No.32](#))により数十年に一度の大雨が予想される場合で、特に土砂災害に警戒すべきときに発表される特別警報のこと。
- No. 6 おくないあんぜんかくほ
屋内 安全 確保
- ハザードマップを確認し、住民自らの判断で氾濫([No.64](#))しても浸水しない安全な高さの居室に移動したり留まるなどして、安全を確保すること。

か行

- No. 7 ^{かせん}
河川 カメラ (ライブカメラ)
リアルタイムで河川の状況を撮影したカメラ画像のこと。
- No. 8 ^{かていないびちく}
家庭内 備蓄
ライフライン(No.82)が途絶えても家で避難生活をする事ができる防災用品のこと。
- No. 9 ^{かどうへいそく}
河道 閉塞
大雨や地震などで崩れた土砂が、河川の流れをせき止めること。河川をせき止めていた土石等が一気に崩れると、土石流が発生し、下流に被害が発生することがあります。
- No. 10 ^{かんそくかいしすい}
観測 開始 水位
短い間隔で観測を開始する水位(No.34)のこと。
- No. 11 ^{ききかんりがたすいけいきよく}
危機 管理型 水位計局
洪水(No.18)時の水位(No.34)観測に特化した低コストな水位計のことで、河川の水位が増水した時に自動的に作動し水位を観測します。
- No. 12 ^{きけんすい}
危険 水位
河川が氾濫(No.64)するおそれがある水位のこと。
- No. 13 ^{きしょうじょうほう}
気象 情報
気象庁の予報に係るある台風その他の異常気象等について、一般及び関係機関に対して具体的にすみやかに発表される情報のこと。

No. 14

きんきゅうあんぜんかくほ 緊急 安全 確保

以下の2つの意味があります。

- ① (避難情報として)「警戒レベル5」緊急安全確保は災害が発生・切迫した状況で、市民などに命の危険から少しでも身の安全を確保するよう指示するための福井市が発令する避難情報(No.76)のこと。
- ② (避難行動として)主に①の発令時など、安全な避難ができない可能性がある状況で命の危険から少しでも身の安全を確保するためにとる次善の行動のこと。

No. 15

けいかくこうすい 計画 高水位

河川の計画を立てるときの基本となる水位(No.34)や、川の堤防(No.56)工事などの基準で、堤防が完成した際に、その堤防が耐えられる最高の水位のこと。

No. 16

けっかい 決壊

堤防(No.56)が崩壊し、増水した河川の水が堤防から流れ出ること。

No. 17

けっそく 欠測

観測装置のメンテナンス、故障等により、データが取得できない状況のこと。

No. 18

こうずい 洪水

次の2つの意味があります。

- ① 大雨(No.32)により河川から水があふれて氾濫(No.64)すること(主に一般用語として使われます)。
- ② 大雨(No.32)により河川が増水すること(主に土木用語として使われます)。

No. 19 こうずいけいほう
洪水 警報

増水や氾濫(No.64)により重大な洪水(No.18)災害が発生するおそれがあると予想したときに発表される気象警報(No.13)「警戒レベル 3 相当情報[洪水]」のこと。

No. 20 こうずい
洪水 シミュレーション

目標規模(概ね 10~150 年や1,000年に1回程度以上の確率で発生する降雨)の洪水(No.18)で仮に堤防(No.56)が決壊(No.16)するとした時に、氾濫により浸水する区域を数値的に模擬実験した結果のこと。

No. 21 こうずいしんすいそうていくいきず
洪水 浸水 想定 区域図

水防法(No.42)に基づき、法指定河川(法によって指定された河川)において、基本想定(計画規模降雨)と最大想定(想定最大規模降雨)により河川が氾濫(No.64)した場合に浸水が想定される区域を現した図のこと。

No. 22 こうずいちゅういほう
洪水 注意報

大雨、長雨、融雪等の現象により河川の水が増し、河川の堤防(No.56)・ダムに損傷を与える等によって重大な災害が起こるおそれがある場合に発表する注意報のこと。

No. 23 こうずいよほう
洪水 予報

河川管理者と福井地方気象台が共同して、河川の水位(No.34)の予測を行うこと。
福井市内では、九頭竜川、日野川、足羽川の3河川の洪水予報が発表されます。

No. 24 こうれいしゃとうひなん
高齢者等 避難

警戒レベル3高齢者等避難は災害が発生するおそれがある状況で、高齢者や障がいのある方及びその支援者等に避難を促すために、市長が発令する避難情報(No.76)のこと。

No. 25

ざいたくひなん
在宅避難

災害が発生した時に、家族やご自身の身体にケガがなく、自宅に危険な損傷がない場合、多少不便であっても、自宅で避難生活を送ること。

No. 26

さがん
左岸

河川を上流から下流(すなわち川の流れる方向)に向かって眺めたときの左側のこと。

No. 27

じかんうりょう
時間雨量

60分間に降った雨量の合計のこと。

No. 28

じしゅぼうさいかつどう
自主防災活動

「自分の命は自分で守る。自分たちの地域は自分たちで守る。」ための地域住民による自主的な防災活動であり、住んでいる地域を住民、自らが主体的に「安全で住みやすい、災害につよいまち」にするための活動のこと。

No. 29

じしゅぼうさいそしき
自主防災組織

自治会などで地域住民が協力して、「自分たちの地域は自分たちで守る」ことを目的に、日ごろからさまざまな活動を行う組織のこと。

No. 30

しせん
支川

本川(No.80)に合流する河川のこと。また、本川の右岸側(No.1)に合流する支川を「右支川」、左岸側(No.26)に合流する支川を「左支川」と呼びます。

No. 31 じぼんだか
地盤高

現況の地盤の高さ(標高)のこと。標高とは、東京湾の平均海面を0mの基準面として、その基準面からの高さのことをいいます。

No. 32 しゅうちゅうごう
集中豪雨

同じような場所で数時間にわたり強く降り、100mmから数百mmの雨量をもたらす雨のこと。

No. 33 しんすいじっせき
浸水実績

過去に発生した水害([No.36](#))被害の範囲のこと。福井県が公表する「水害ハザード情報」の浸水実績データは、「水害統計書」の水害区域図(浸水被害の実態調査の結果)などの資料を基に作成されています。

No. 34 すい
水位

河川などの水面の位置を観測所ごとに設定した基準面からの高さで表した値のこと。

No. 35 すいいかんそくじょ
水位観測所

河川の水位を測るために設けられた場所のことで、洪水予報([No.23](#))はその河川の代表的な観測所(例:足羽川 九十九橋水位観測所)で観測された水位([No.34](#))の値を基準にして警報・注意報が発表されます。

No. 36 すいがい
水害

大雨や台風などの多量の降雨によって引き起こされる災害のこと。

No. 37 ^{すいがい} 水害 ^ず リスク 図

法指定河川（法で指定された河川）以外の県が管理する河川において、最大想定（想定最大規模降雨）および基本想定（計画規模降雨）により河川が氾濫（No.64）した場合に浸水が想定される区域を現した図のこと。

No. 38 ^{すいけい} 水系

同じ流域内にある本川（No.80）、支川（No.30）、派川（No.61）およびこれらに関連する湖沼のこと。その名称は、本川名をとって九頭竜川水系などという呼び方が用いられています。

No. 39 ^{すいちよくひなん} 垂直避難

切迫した状況において、屋内の2階以上に避難すること。

No. 40 ^{すいへいひなん} 水平避難

その場を立ち退き、近隣の少しでも安全な場所に一時的に避難すること。または、居住地と異なる場所で生活を前提とし、避難所（No.75）等に長期間避難すること。

No. 41 ^{すいぼうだんたいきすい} 水防団 待機 水位 ^{つうほうすい} 水位 （通報 水位）

水防団（消防団）が水防活動を行うために、待機する目安となる水位（No.34）のこと。
（水防法（No.42）第12条第1項）

No. 42 ^{すいぼうほう} 水防法

「洪水（No.18）又は高潮（No.49）に際し、水災を警戒し、防ぎよし、及びこれによる被害を軽減し、もって公共の安全を保持する」ことを目的とした法律のこと。

No. 43 せんじょうこうすいたい
線状 降水帯

次々と発生する発達した雨雲(積乱雲群)が数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される線状に伸びる強い降水をともなう雨域のこと。

No. 44 ぜんちょうげんしょう
前兆 現象

土砂災害の前に発生する、溪流や斜面などの日常とは異なる現象のこと。注意深く観察することで土砂災害の発生を早期に予測して避難に繋がる場合があります。

No. 45 そうりょう
総雨量

雨の降り始めから降り終わりまでの雨量の合計値のこと。

警報級の現象が5日先までに予想されるときに、気象庁がその可能性を高さに応じて[高]、[中]の2段階で伝える情報のこと。

① 2日先から5日先までの「早期注意情報（警報級の可能性）」

2日先から5日先までの「早期注意情報（警報級の可能性）」は、台風・低気圧・前線などの大規模な現象に伴う大雨等が主な対象です。

[高]や[中]が発表されたときは、心構えを早めに高めて、これから発表される「台風情報」や「予告的な府県気象情報」の内容に十分留意する必要があります。

② 翌日までの「早期注意情報（警報級の可能性）」

翌日までの期間の「早期注意情報（警報級の可能性）」は、積乱雲や線状降水帯（No.43）などの小規模な現象に伴う大雨等から、台風・低気圧・前線などの大規模な現象に伴う大雨等までが対象です。

[中]が発表されたときは、[高]ほど可能性が高くはありませんが、命に危険が及ぶような警報級の現象となり得ることを表しています。

[高]が発表されたときは、危険度が高まりつつあり、「警報に切り替える可能性が高い注意報」や「予告的な府県気象情報」がすでに発表されているか、まもなく発表されることを表しています。

出典：国土交通省 気象庁「気象庁が天気予報等で用いる予報用語」
国土交通省 「早期注意情報（警報級の可能性）」

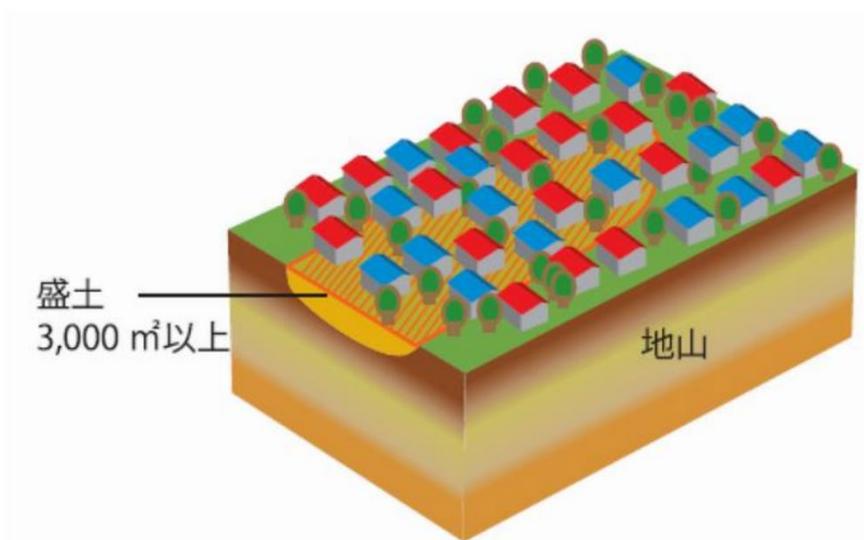
緊急時、周囲に避難を呼びかけつつ、自ら率先して避難すること。

No. 48

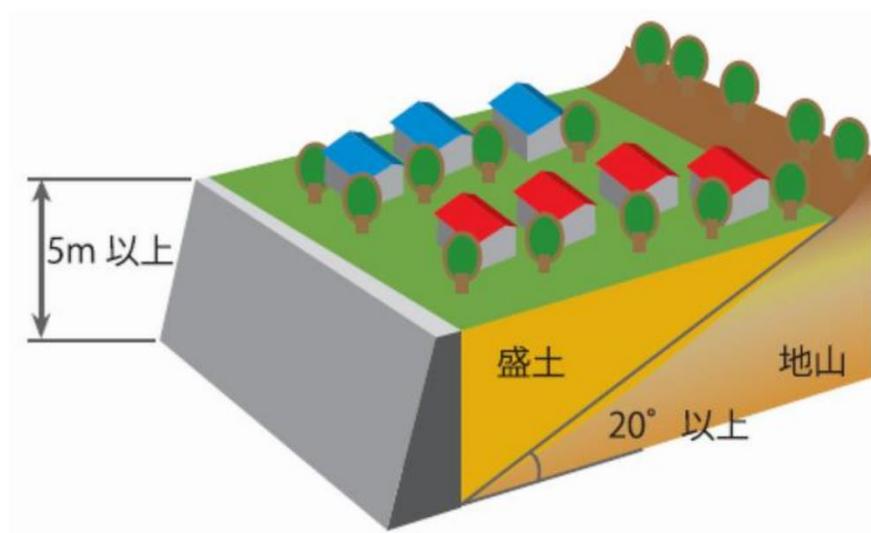
だいきほもりどぞうせいち
大規模盛土造成地

宅地を造成する際に、谷や沢を埋めた造成地又は傾斜地の上に腹付した造成地（盛土）のうち、大規模なものをいい、次の2種類があります。

- ① 谷埋め型：盛土の面積が3,000平方メートル以上



- ② 腹付け型：盛土をする前の地盤面の角度が20度以上、かつ盛土の高さ5メートル以上



- No. 49 ^{たかしお}
高潮
台風や低気圧の接近に伴い、潮位が通常よりも大きく上昇すること。
- No. 50 ^{たちの ひなん}
立退き避難
災害により危険な場所から安全な場所へ移動して避難すること。
- No. 51 ^{いけ}
ため池
降水量が少なく、流域の大きな河川に恵まれない地域などで、農業用水を確保するために水を貯え取水ができるよう、人工的に造成された池のこと。
- No. 52 ^{ちいき}
地域コミュニティ
一定の地域を基盤とした住民組織、人と人とのつながりであり、そこに暮らす地域住民が構成員となって、地域づくり活動や地域課題の解決等、その地域に関わる様々な活動を自主的・主体的に展開している集団のこと。
- No. 53 ^{つなみ}
津波
海底で発生する地震で生じる大きな波のこと。海岸沿いの山体崩壊や海底地すべりで発生します。
- No. 54 ^{ていがいち}
堤外地
堤防(No.56)に挟まれて水が流れている側のこと。
- No. 55 ^{ていないち}
堤内地
堤防(No.56)によって洪水氾濫(No.64)から守られている住居や農地のある側のこと。

No. 56 ていぼう
堤防

計画高水位(No.15)以下の水位の流水を安全に流すため、山に接する場合などを除き、左岸(No.26)と右岸(No.1)に築造された構造物のこと。

No. 57 てんば
天端

堤防(No.56)の一番高い面のことで、道路として利用されている所もあります。

No. 58 どしゃさいがいけいかいじょうほう
土砂災害警戒情報

命に危険が及ぶような土砂災害がいつ発生してもおかしくない危険な状況のときに福井市から発表される警戒情報のこと。

No. 59 どしゃさいがいぼうしほう
土砂災害防止法

土砂災害から国民の生命を守るため、土砂災害のおそれのある区域について危険の周知、警戒避難態勢の整備、住宅等の新規立地の抑制、既存住宅の移転促進等のソフト対策を推進しようとする法律のこと。

は行

No. 60

はいすいのうりょく
排水能力

側溝や排水路などの設備により排除することができる能力のこと。

No. 61

は せん
派川

本川(No.80)から分かれて流れる河川のこと。

No. 62

はっせいかくりつ
発生確率

洪水(No.18)時の発生頻度の表現方法の一つで、「何年に一度の割合で起こる洪水」というように使われます。正確には1年のうちに発生する確率のことを指しますが、便宜的に「何年に一度」という表現で使われます。

・1/50…50年に1度

・1/1000…1000年に1度

No. 63

は てい
破堤

堤防(No.56)が壊れ、増水した川の水が堤内地(No.55)に流れ出すこと。越水(No.2)などが、増水した河川の堤防において生じると、破堤を引き起こす原因となります。

No. 64

は ん ら ん
氾濫

洪水(No.18)で増水した河川の水が堤防(No.56)をこえて農地、市街地などへ流れ出すこと。

No. 65

は ん ら ん か い し す い い
氾濫開始水位

氾濫(No.64)が発生する水位(No.34)のこと。

No. 66 はんらんきけんじょうほう
氾濫危険情報

指定された河川において、河川からいつ水があふれ出してもおかしくない危険な状況のときに発表される情報のこと。

No. 67 はんらんきけんすいい きけんすいい
氾濫危険水位（危険水位）

氾濫(No.64)が起こるおそれがある水位(No.34)のことで、この水位に達すると、堤防(No.56)が危険な状態になり水があふれだす場所もあります。

No. 68 はんらんけいかいじょうほう
氾濫警戒情報

指定された河川において、川の増水により、今後氾濫(No.64)するおそれがあるときに気象庁から発表される警報のこと。

No. 69 はんらんちゅういじょうほう
氾濫注意情報

指定された河川において、川の増水により、氾濫(No.64)への注意を始める必要があるときに発表される注意情報のこと。

No. 70 はんらんちゅういすいい けいかいすいい
氾濫注意水位（警戒水位）

水害(No.36)に備えて水防団(消防団)が出動し、警戒にあたる目安となる水位(No.34)のこと。(水防法(No.42)第12条第2項)

No. 71 はんらんはっせいじょうほう
氾濫発生情報

指定された河川において、川の氾濫(No.64)が発生したことを知らせる情報のこと。

No. 72 ひじょうようも だ ひん
非常用持ち出し品

家を離れて避難生活をするを考えて、いざというとき持ち出しもできる必要最小限の防災用品のこと。

No. 73 ひなんかくほけいかく
避難確保計画

水害([No.36](#))や土砂災害が発生するおそれがある場合における利用者の円滑かつ迅速な避難の確保を図るための計画のこと。

No. 74 ひなんしじ
避難指示

災害が発生するおそれが高まった状況で、災害リスクのある区域等の居住者等が危険な場所から避難するよう指示するために、福井市が発令する避難情報([No.76](#))のこと。

No. 75 ひなんじよ
避難所

地震や洪水([No.18](#))等による家屋の倒壊、焼失などで被害を受けた方又は現に被害を受けるおそれのある方を一時的に受け入れ、保護するために開設する学校、公民館等の建物のこと。

No. 76 ひなんじょうほう
避難情報

地震や台風、大雨、洪水([No.18](#))等の災害が発生したとき、またはそのおそれがあるときに市長から発表される情報のこと。福井市から発表される避難情報([No.76](#))は3種類(高齢者等避難([No.24](#))、避難指示([No.74](#))、緊急安全確保([No.14](#)))あります。

No. 77 ひなんはんだんすいゐ とくべつけいかいすいゐ
避難判断水位 (特別警戒水位)

住民の避難の目安となる水位([No.34](#))のことで、この水位に達すると避難が必要な場合があります。

No. 78 ぼうさいぎょうせいむせん
防災行政無線

国及び地方公共団体(福井市)が非常災害時における災害情報の収集・伝達手段の確保を目的とする、無線による通信網のことで、災害時に有線回線が途絶した場合でも、使用することができます。

No. 79 ほうすいろ
放水路

洪水(No.18)による川の氾濫(No.64)を防ぐ方法の一つとして、川の途中から流れを他の川に移動させたり、直接海へ流したりする施設のことで、川のバイパスともいわれています。

No. 80 ほんせん
本川

流量(No.84)、長さ、流域の大きさなどが、もっとも重要と考えられる、あるいは最長の河川のこと。

や行

No. 81 ようはいりよしゃ
要配慮者

高齢者や乳幼児、障がい者、傷病者、外国人など災害から身を守ることに何らかの困難を抱え、周囲の支援が必要になる方のこと。

ら行

No. 82 ライフライン

生活に不可欠な電気・上下水道・ガス・通信などの供給路のこと。

No. 83 りゅういきめんせき
流域面積

地上に降った雨や雪解け水が河川に集まった自然の水路の広さのこと。

No. 84 りゅうりょう
流量

一定の時間内に川や水路の一つの断面を通過する流体の体積を表す値のこと。

【別途資料】河川一覧(詳細)

基本想定

No.	河川名	発生確率※1	総雨量	No.	河川名	発生確率※1	総雨量
1	九頭竜川(下流)	1/150	2日間で414mm※2	21	狐川	1/50	1日間で219mm
			2日間で327mm※3	22	未更毛川	1/30	1日間で198mm
	日野川(下流)	1/150	2日間で299mm※4	23	志津川	1/30	1日間で198mm
			2日間で302mm※5	24	山内川	1/30	1日間で198mm
2	足羽川(下流)	1/50及び1/150	2日間で312mm※6	25	滝波川	1/30	1日間で198mm
			2日間で376mm※7	26	平尾川	1/30	1日間で198mm
3	足羽川(中下流)	1/50	2日間で312mm	27	朝六川	1/50	1日間で219mm
4	鞍谷川(下流)	1/50	1日間で186mm	28	高橋川	1/30	1日間で198mm
5	天王川(下流)	1/50	1日間で188mm	29	大森川	1/30	1日間で197mm
6	日野川(中流)	1/100及び1/150	2日間で299mm	30	一乗谷川	1/30	1日間で200mm
7	江端川	1/50	1日間で180mm	31	磯部川	1/50	1日間で180mm
8	浅水川	1/50	1日間で186mm	32	八ヶ川・北川	1/30	1日間で222mm
9	荒川	1/80	1日間で189mm	33	片川・片川放水路	1/30	1日間で198mm
10	古川	1/50	1日間で227mm	34	高須川	1/30	1日間で185mm
11	鹿俣川	1/10	1日間で150mm	35	三本木川	1/30	1日間で185mm
12	大谷川	1/30	1日間で200mm	36	一光川	1/30(浸水なし)	1日間で185mm
13	三万谷川	1/10	1日間で150mm	37	大味川	1/30	1日間で185mm
14	芦見川	1/30	1日間で200mm	38	底喰川	1/50	1日間で209mm
15	羽生川	1/30	1日間で200mm	39	芳野川	1/50	1日間で209mm
16	縫原川	1/10	1日間で150mm	40	馬渡川	1/50	1日間で209mm
17	計石川	1/30	1日間で200mm	41	赤川	1/30	1日間で197mm
18	東俣川	1/10	1日間で150mm	42	七瀬川	1/30	1日間で197mm
19	上味見川	1/30	1日間で200mm				
20	野津又川	1/10	1日間で150mm				

※1 発生確率とは、例えば1/50の場合、毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が50分の1(2.0%)であることを示すものです。

※2 洪水予報河川の上流端から日野川合流点までのB区間内の総雨量(別途資料「河川図」参照)

※3 日野川合流点から海までのA区間内の総雨量(別途資料「河川図」参照)

※4 洪水予報河川の上流端から足羽川合流点までと、天王川合流点から江端川合流点までのG・H区間内の総雨量(別途資料「河川図」参照)

※5 足羽川合流点から九頭竜川合流点までのF区間内の総雨量(別途資料「河川図」参照)

※6 水位周知河川の上流端から一乗谷川合流点までと、足羽川の流域のD・E区間内の総雨量(別途資料「河川図」参照)

※7 一乗谷川合流点から日野川合流点までのC区間内の総雨量(別途資料「河川図」参照)

※2～7の詳細は、別途資料「河川図」をご確認ください。

出典：国土交通省「洪水浸水想定区域図」

福井県「洪水浸水想定区域図」「水害リスク図」

最大想定

No.	河川名	発生確率※1	総雨量	河岸浸食	氾濫流	浸水継続時間	No.	河川名	発生確率※1	総雨量	河岸浸食	氾濫流	浸水継続時間
1	九頭竜川(下流)	1/1000	2日間で641mm※2	○	○	○	21	狐川	1/1000	1日間で813mm	—	—	—
			2日間で540mm※3	○	○	○	22	未更毛川		1日間で813mm	—	—	—
	日野川(下流)		2日間で697mm※4	○	○	○	23	志津川		1日間で797mm	—	—	—
			2日間で639mm※5	○	○	○	24	山内川		1日間で813mm	—	—	—
2	足羽川(下流)	2日間で774mm※6	○	○	○	25	滝波川	1日間で813mm	—	—	—		
3	足羽川(中下流)	2日間で774mm	—	—	—	26	平尾川	1日間で813mm	—	—	—		
4	鞍谷川(下流)	1日間で710mm	○	○	○	27	朝六川	1日間で813mm	—	—	—		
5	天王川(下流)	1日間で739mm	○	○	○	28	高橋川	1日間で813mm	—	—	—		
6	日野川(中流)	2日間で697mm	○	○	○	29	大森川	1日間で813mm	—	—	—		
7	江端川	1日間で794mm	○	—	○	30	一乗谷川	1日間で813mm	—	—	—		
8	浅水川	1日間で710mm	○	○	○	31	磯部川	1日間で813mm	○	—	○		
9	荒川	1日間で802mm	○	○	○	32	八ヶ川・北川	1日間で813mm	○	—	○		
10	古川	1日間で813mm	—	—	—	33	片川・片川放水路	1日間で813mm	—	—	—		
11	鹿俣川	1日間で813mm	—	—	—	34	高須川	1日間で813mm	—	—	—		
12	大谷川	1日間で813mm	—	—	—	35	三本木川	1日間で813mm	—	—	—		
13	三万谷川	1日間で813mm	—	—	—	36	一光川	1日間で813mm	—	—	—		
14	芦見川	1日間で813mm	—	—	—	37	大味川	1日間で813mm	—	—	—		
15	羽生川	1日間で813mm	—	—	—	38	底喰川	1日間で813mm	—	—	—		
16	縫原川	1日間で813mm	—	—	—	39	芳野川	1日間で813mm	—	—	—		
17	計石川	1日間で813mm	—	—	—	40	馬渡川	1日間で813mm	—	—	—		
18	東俣川	1日間で813mm	—	—	—	41	赤川	1日間で813mm	—	—	—		
19	上味見川	1日間で813mm	—	—	—	42	七瀬川	1日間で803mm	—	—	—		
20	野津又川	1日間で813mm	—	—	—								

※1 発生確率とは、例えば1/1, 000の場合、毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1,000分の1(0.1%)であることを示すものです。

※2 洪水予報河川の上流端から日野川合流点までのB区間内の総雨量(別途資料「河川図」参照)

※3 日野川合流点から海までのA区間内の総雨量(別途資料「河川図」参照)

※4 洪水予報河川の上流端から足羽川合流点までと、天王川合流点から江端川合流点までのG・H区間内の総雨量(別途資料「河川図」参照)

※5 足羽川合流点から九頭竜川合流点までのF区間内の総雨量(別途資料「河川図」参照)

※6 水位周知河川の上流端から日野川合流点までと、足羽川の流域のC・D・E区間内の総雨量(別途資料「河川図」参照)

※2～6の詳細は、別途資料「河川図」をご確認ください。

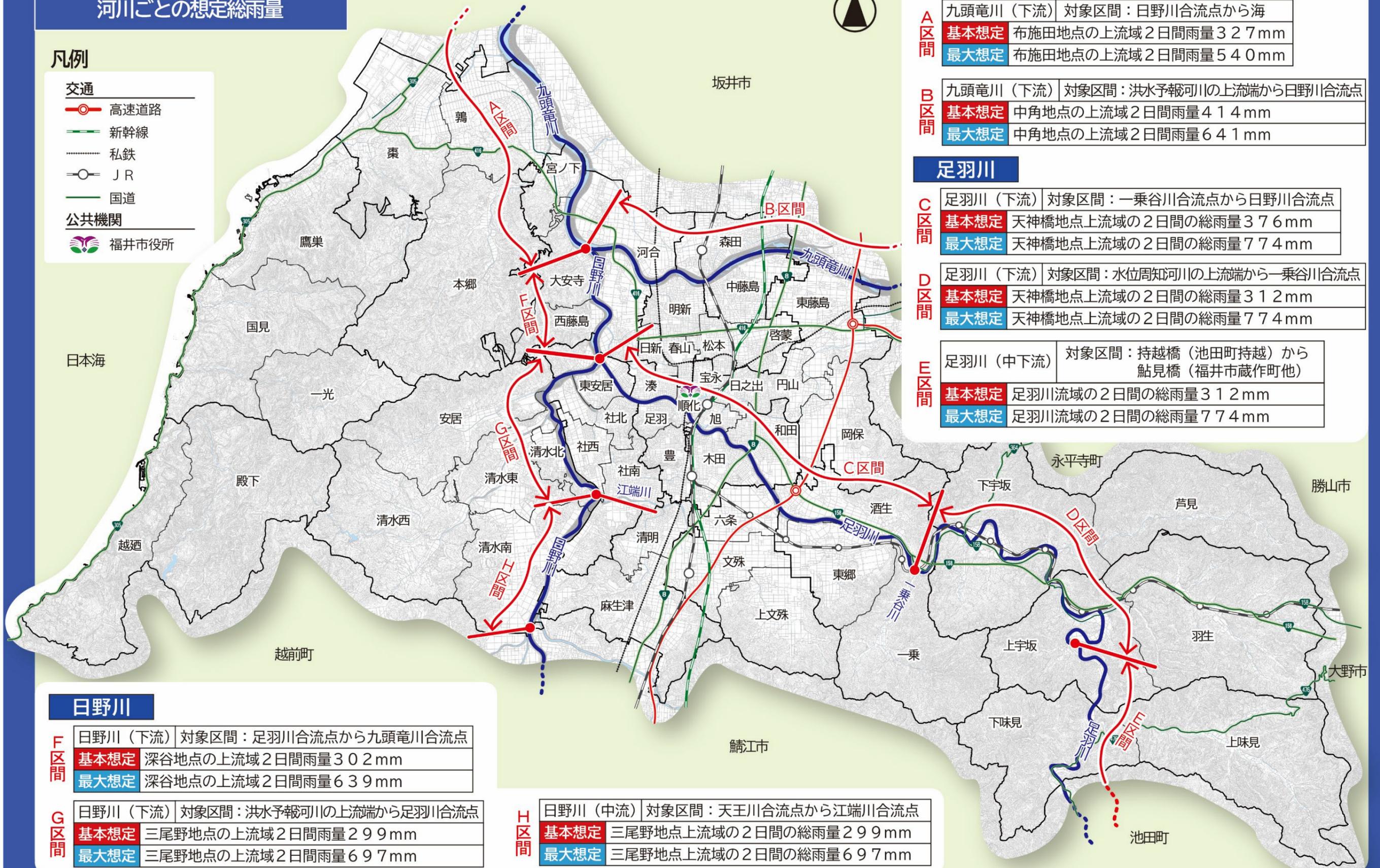
出典：国土交通省「洪水浸水想定区域図」

福井県「洪水浸水想定区域図」「水害リスク図」

九頭竜川・日野川・足羽川
河川ごとの想定総雨量

凡例

- 交通**
- 高速道路
 - 新幹線
 - 私鉄
 - JR
 - 国道
- 公共機関**
- 福井市役所



九頭竜川

A 区 間	九頭竜川（下流）	対象区間：日野川合流点から海
	基本想定	布施田地点の上流域2日間雨量327mm
	最大想定	布施田地点の上流域2日間雨量540mm

B 区 間	九頭竜川（下流）	対象区間：洪水予報可川の上流端から日野川合流点
	基本想定	中角地点の上流域2日間雨量414mm
	最大想定	中角地点の上流域2日間雨量641mm

足羽川

C 区 間	足羽川（下流）	対象区間：一乗谷川合流点から日野川合流点
	基本想定	天神橋地点上流域の2日間の総雨量376mm
	最大想定	天神橋地点上流域の2日間の総雨量774mm

D 区 間	足羽川（下流）	対象区間：水位周知可川の上流端から一乗谷川合流点
	基本想定	天神橋地点上流域の2日間の総雨量312mm
	最大想定	天神橋地点上流域の2日間の総雨量774mm

E 区 間	足羽川（中下流）	対象区間：持越橋（池田町持越）から 鮎見橋（福井市蔵作町他）
	基本想定	足羽川流域の2日間の総雨量312mm
	最大想定	足羽川流域の2日間の総雨量774mm

日野川

F 区 間	日野川（下流）	対象区間：足羽川合流点から九頭竜川合流点
	基本想定	深谷地点の上流域2日間雨量302mm
	最大想定	深谷地点の上流域2日間雨量639mm

G 区 間	日野川（下流）	対象区間：洪水予報可川の上流端から足羽川合流点
	基本想定	三尾野地点の上流域2日間雨量299mm
	最大想定	三尾野地点の上流域2日間雨量697mm

H 区 間	日野川（中流）	対象区間：天王川合流点から江端川合流点
	基本想定	三尾野地点上流域の2日間の総雨量299mm
	最大想定	三尾野地点上流域の2日間の総雨量697mm